



続
今週の
お言葉



YasZone
<http://yaszone.jp/>

目次

【051】	岩井志麻子「べっぴんがごく」より	7
【052】	亀山哲郎「やってくるね、ロシア人！」より	14
【053】	ドリームワークス「カンフーパーンダ」より	17
【054】	万城目学「鹿男あをによし」より	25
【055】	谷川俊太郎「ひとりぼっち」より	32
【056】	星新一「声の網」より	38
【057】	江國香織「すきまのおともだちたち」より	41
【058】	ガー・レイノルズ「プレゼンテーションZEN」より	46
【059】	太宰治「走れメロス」より	51
【060】	みうらじゅん「LOVE」より	55
【061】	桑原晃弥「ステイブジョブズ神の遺言」より	59
【062】	森見登美彦「夜は短し歩けよ乙女」より	65
【063】	マザーテレサ「マザーテレサ愛の言葉」より	71
【064】	ウォルター・アイザックソン「ステイブジョブズI」より	76
【065】	ピクサー「トイ・ストーリー」より	81
【066】	宮崎駿監督作品「天空の城ラピュタ」より	86
【067】	東川篤哉「謎解きはディナーのあとで」より	90
【068】	一休宗純「狂雲集」より	96
【069】	北方謙三「史記武帝紀」より	100
【070】	トーベ・ヤンソン「ムーミン谷の夏祭り」より	104
【071】	村上春樹「1Q84」より	109

目次

【072】	森博嗣「失われた猫」より	123
【073】	ロン・ハワード監督作品「コクーン」より	127
【074】	三島有紀子「しあわせのパン」より	133
【075】	唯川恵「いっそ悪女で生きてみる」より	141
【076】	さとうさくら「携帯を盗み読む女」より	147
【077】	森見登美彦「ペンギン・ハイウェイ」より	151
【078】	テレビ朝日アニメ「一休さん」より	156
【079】	柳田国男「豆の葉と太陽」より	159
【080】	吉田兼好「徒然草」より	163
【081】	あいはいらひろゆき「くまのがっこう」より	165
【082】	伊坂幸太郎「モダンタイムス」より	169
【083】	東野圭吾「夜明けの街で」より	174
【084】	カズオ・イシグロ「わたしを離さないで」より	178
【085】	新美南吉「牛をつないだ椿の木」より	182
【086】	万城目学「鴨川ホルモー」より	185
【087】	森絵都「カラフル」より	189
【088】	宮崎駿監督作品「紅の豚」より	192
【089】	学研パブリッシング刊「オタク川柳」より	196
【090】	三浦しをん「君はポラリス」より	200
【091】	安武信吾「はなちゃんのみそ汁」より	203
【092】	有川浩「塩の街」より	206

目次

【093】	柳美里「ルージユ」より	211
【094】	矢崎存美「ぶたぶたカフェ」より	216
【095】	夏川草介「神様のカルテ3」より	220
【096】	「あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない」より	224
【097】	夏坂健「フオー」より	230
【098】	辻村深月「鍵のない夢を見る」より	237
【099】	三浦しをん「お友だちからお願ひします」より	241
【100】	森見登美彦「夜は短し歩けよ乙女」より	246

わしら わかつとつても

わがらんぷりをしとらんと いけん

【051】岩井志麻子「べっぴんがJUN」より

宮

ヶ瀬からの帰り道でのお話です。津久井湖・花の園地から城山ダム
のところまで下ったところで、前方を走行中のロードバイクに追いつい
てしまいました。城山ダムの上は国道413号が通っており、路側帯が
とても狭くなっています。折しも夕方の渋滞のピークの時間。道には車
がいつぱいの状態で、前を走る遅いロードバイクを抜く余裕がないので
あります。仕方無く、このロードバイクの後ろについていく事にしまし
た。

城山ダムを抜けると国道は登りに転じます。さて、幅員ふくいんも広くなつた

し、この短い登り区間で前のロードバイクを抜かそうと、私は立ち漕ぎ体制に入りました。すると、前を走るサイクリストが、ペダルからいきなり足を踏み外したのであります。ペダルのビンディングのバネが弱めだったというのは、よくある話。ところが自転車をみると、ビンディングペダルではなく、フラットペダルではありませんか。

パールイズミのサイクルウェアではつちり決めているローディーの足もとがフラットペダルというのも、かなり珍しい状況です。私は追い抜き計画を変更し、しばらくこの自転車の後ろについて、彼を観察してみる事に致しました。

それにしてもこの人、かなり頻繁ひんぱんに足を踏み外します。フラットペダルは仕方ないとしても、靴裏くつうらの材質が滑りやすいモノなのでありますよ。うか。カキンという踏み外す時の音からも、かなり硬質の靴裏である事

が想像されます。城山高校の信号に引っかけましたので、斜め後ろからゆつくりと彼の靴を観察します。ふむふむ。シルバーホワイトの、割とカッコ良いシューズです。シマノと書いてあります。あれ？私のシューズにそっくり。て言うか私のシューズと兄弟モデル、シマノのSH・R315ではありませんか！SPD・SLシューズのコンペモデルであります。私のシューズはSH・M315E。SPD・SLではなく、SPD用のシューズです。かみさんに言えねえ程、高価いのでありますよ。定価は三万五千元。カスタムフィット対応モデルですから、設備の整ったショップで買えば、自分の足形に合わせて熱成形する事が可能です。ねっせいけい私もマンダの大將に熱成形してもらったのであります。

あしうらSH・R315とSH・M315Eはクリート形式が異なりますから足裏の形状は違いますが、靴本体の造りはそっくりです。へ、私のと、

ほとんどお揃いじゃん。

それにしてもSPD・SLシューズを履きながらフラットペダルに乗るとは、普通の行動ではありません。もしかしたら出先でトラブルが発生して、何らかの事情でフラットペダルに交換して帰るところかも知れませんね。頻繁に踏み外す件は、これで合点がてんが이었습니다。SPD・SLのシューズには硬質プラスチック製のクリートが、出っ張る形で装着されていますから、金属のフラットペダルでは、かきゅんと滑ってしまうのでありません。野球のスパイクでコンクリートの床を歩くのと同じ原理であります。

更に観察を続けます。あまり見た事のないロードバイクです。フレーム材質はカーボン。色はカーボン柄です。フレームには、ANT☆RESと大書されています。「アンタレス」と読むのでしょうか。聞いたこ

と無いなあ。少なくとも後輪ブレーキはシマノ105。

信号が青に変わりました。前のANT☆RES号が出発します。え？まじ？一瞬見間違えかと思いました。まさかね。そんな事ある訳ないよね。靴を凝視します。ありやゝやっぱりゝ。間違いありません。ANT☆RES号の彼は、シマノSH・R315カスタムフィットSPD・SLシューズを履^はきながら、何と、クリート（足裏の固定金具）を装着していないのであります。定価で三千五千元以上もする高価なサイクリングシューズを、単なるスニーカーとして使っていたのであります。彼がフラットペダルにしているのは、別にトラブルが発生したからではなく、元からだったのであります。そして頻繁に発生する「踏み外し」は、SH・R315シューズの靴底の材質がカーボンである事に起因していたのでしよう。硬いカーボンと金属製フラットペダルでは、滑って

当然。それにしても、これを買った自転車屋さんでは、何も教えてくれなかったのでしょうか。全くもって不思議な話であります。

むむむひやひやひやひやひや。私、もつとスゴい事に気付いてしまいましたよ。ぶひやぶぶひやひやひやひやひやひや。笑いを堪えるのが、たたたた大々変。なななんと。ヘル。メットが。逆。だよ!!!
そうです。ANT☆RES号の彼は、ヘルメットを前後逆に被っているのです！今年の一月に川崎大師にお出かけした際、URIBOZ某女性のヘルメット逆被りを目撃して以来、人生二度目の逆被り目撃であります！

嗚呼、教えてあげたい。でも彼に何から話せば良いのでありましょう。

靴はおかしいは、ペダルはおかしいは、その上ヘルメットは逆被りだは、いずれの説明においても、笑いを堪^たえるのは至難^{しなん}でありますし、あまり

にあからさまな指摘は、彼を傷つける事になりかねません。それ以前に逆ギレでもされたら面倒です。ホントは教えてあげるべきなのでしょうけど、波風たてないのも大人の対応かも知れないな、とも考えてしまいます。くっつっ！！どうしたらいいんだっつ！

わしら、わかつとつても、わからんふりをしとらんと、いけん

岩井志麻子著「べっぴんぢごく」（新潮文庫）の中のお言葉です。少なくとも彼と仲間であると思われる事だけは、絶対に避けねばなりません。お腹も減っていない、ボトルも満タンにも関わらず、彼から離れる為にコンビニに寄り道します。退避退避（笑）。あゝ、それにしても、可笑しくて可笑しくて、変になつちやいそうでした。ふっ強烈！

ジブリっでね いろいろのよ

七月はまだ夏ではない 八月はもう夏ではない

【052】亀山哲郎「やってくれるね、ロシア人！」より

暑

い日ばかりでなく、涼しい風がふく日も増えて参りました。皆様、いかがお過ごしでいらつしやいますでしょうか。自転車でお出掛けしますか？誰です？日焼けが嫌だから自転車で出掛ける気にならないよ、なんて仰おつしやってるのは。

確かに、自転車で出掛けるには少々日差しが強過ぎる日も御座います。炎天下での運動は、日焼け対策も必要ですし、熱中症も怖いですしね。既に涼しい風もふき始めておりますし、もうしばらくすればスポーツの秋。秋まで待って快適な気候の中で思いつきサイクリングを、という

気持ちも分かります。でもちよつと待って下さい。秋と同じく、サイクルリングに最適な春には、「今日は寒いから」といつて出掛けるのを躊躇ちゆうちよしていたのではなかったですか。涼しくなるのを待っていたら、あつという間に寒くなってしまいます。暑かろうが何だろうが、今出掛けなければ、結局サイクルリングの機会は減ってしまうのであります。

シベリアではね、こう言うのよ。七月はまだ夏ではない。八月はもう夏ではない。

亀山哲郎のエッセイ「やってくれるね、ロシア人！」からのお言葉です。本当に過ぎしやすい季節なんて、それこそ一瞬で過ぎ去ってしまうモノ。まさしくシベリアの夏の如ごとしであります。

かく言う私も、いざ出掛けようとするグズグズしてしまうタイプ。

ですから事前にイベントの申し込みを済ませ、半ば強制的に自転車に乗ろうとしております。九月四日（日）は、昨年が続いてマウント富士エコサイクリングに申し込み済みでありますよ。今年はURIBOZのもちんさんと同宿です。ふふ。なんか前日に飲み過ぎてしまう予感が致します。ま、楽しけりやそれでいいか！ともちんさん、宜しくお願いします！ つて台風十二号が日本列島に急接近中！ お天気は大丈夫なのか？！

昨日とは過去のもの 明日とは未知のもの
今日の日は儲けもの それは天の贈りもの

【053】ドリームワークス「カンフーパンダ」より

仕事の都合で夜型の生活を強いられている事もあり、私は早起きが苦手であります。ところが、自転車ツーリングの際は早朝出発がセオリー。出発が遅くなるとそれだけ目的地に対する制約が大きくなってしまいますからね。例えば朝四時に起きて四時半に出発すると、八時に起きて八時半に出発するのではその差は実に四時間。相当ゆっくり走ったとしても、距離にして八十キロ、百キロの差となってしまうのです。これでは遠くには出掛けられません。特に今の季節においては、早朝の涼しい時間はとても貴重。日中の暑い時間には熱中症のリスクも高

まりますし、体力的なパフォーマンスも落ちてしまいますから、結果として更に大きな差になってしまいう可能性すらあるのです。

今まで何度、寝坊をしてサイクリングの目的地の近場への変更を余儀なくされた事でありましょう。いや意図せず起きられなかった状況を寝坊と呼ぶのであれば、この場合は寝坊とは云えないかも知れません。実は目覚まし時計により、一度は目を覚ましているのです。しかし、自転車で出掛けようと云うモチベーションに対し眠気の方が勝ってしまい、二度寝をしてしまう事がほとんど。目が覚めているにも関わらず、確信的に取^あえて二度寝を選択しているのです。一言で云えば、意志が弱いのでありましようなあ。

確かに物理的には、二度寝をして睡眠時間はたつぷり取れた訳ですが、^{そうかい}すつきりと爽快な目覚めではありません。しかし、長距離サイクリン

グに出掛ける機会を失った事に対する後悔こうかいも、こりやまた、ひとしおなのでありますよ。

近距離の自転車散歩であればいざ知らず、百マイル二百六十キロ超のロングサイクリングでは、全域に渡って好天が続く事の方が稀まれと申せましょう。日本は山国やまぐにですから、百キロ以上の移動となると、必ずいくつかの峠を越えねばなりません。山の向こう側とこちら側で天気が変わるのは割とよくある事でありまして、折角せっかくの休日に、広範囲に渡って一日中晴天が続くというシチュエーションは、実は貴重だったりするのであります。

目が覚めたら八時を回っていて、しかも好天である事が分かった時の自責の念と云ったら・・・。ばか馬鹿バカ、俺のばか！！！ 何である時、布団から出なかつたのだ！こんな最高のサイクリング日和びよりに、どう

して二度寝なんかしちゃったんだ！！　しかし、長距離サイクリングに
出発するには、時すでに遅し。かくして小仏峠あたりの近場をウロウロ
する事になる訳であります。

二度寝しちゃう位だから、長距離サイクリングがそれ程好きじゃない
のではないかと、それは断じて違います。休日前ともなれば、地
図を眺めながら自転車ツーリングの構想を練るのはいつもの事。ルート
ラボを使って高低図こしらを持えたり、るるぶで観光スポットを調べたり、ツ
ーリング準備に余念がありません。週末は晴れるかなあ。天気予報も調
べまくります。当日になつて二度寝しちゃう割には、過去の寝坊を悔くい、
未来の天候を気にしているのであります。ホントは「当日」を一番大切
にすべきなのにネ。

昨日とは過去のもの。明日とは未知のもの。今日の日は儲けもの。そ

れは天の贈りもの。

ドリームワークスのアニメーション映画、「カンフーパンダ」でのウーグウェイ導師のお言葉です。分かっちゃいるつもりなんですがねえ。出掛けちゃえば楽しいのに、出掛けようとする^{おっくう}とちよつと億劫な気持ち^{おっくう}が首をもたげちゃうんですね。

このカンフーパンダのお言葉、英語の原文は更に秀逸^{しゅういつ}でありますよ。ちよつとご紹介致しましよ。ゾウガメのウーグウェイ導師が、パンダのポーに対して言葉を掛けるシーンで、この珠玉の台詞は語られます。あ、日本語訳はY a s によるもので、更に意識を利かせておりますので、翻訳の正確性についてはご容赦下さいね。

You are too concerned with what was and what will be.

お前さんは、過ぎた事やこれからの事を気にし過ぎておる。

Yesterday is History.

昨日は変えられない。

Tomorrow is a Mystery.

明日の事は分からない。

But today is a Gift.

でも今日の日は贈りもの。

That is why it is called the "Present".

だから今日の事を「プレゼント」と呼ぶのだ。

ね、秀逸な英文でしょ？ History と Mystery とでしつかり韻を踏んで
いますし、Present は、「贈りもの」と「現在」の掛詞かけことばになっていると
いう訳であります。

英文の原文を踏まえた上で、再度日本語吹き替え版を見てみますと、
こちらの中々の秀逸さです。Present の掛詞かけことばを日本語に翻訳する事は不
可能でしょう。それを踏まえた上で、これだけのリズムの良さ。相当頭
の良い人が翻訳を担当したんでしよなあ。吹き替え版は吹き替え版で、
きちんと韻いんを踏ふんでおりますもんねえ。

昨日とは過去のもの。明日とは未知のもの。今日の日は儲けもの。そ
れは天の贈りもの。

さ、これからは、休日の好天は天の贈りものだと思って、きちんと起

きて早朝からサイクリングに出掛けるようにしようつと。

人間は文字に残しておかないと

どんなこともいつかは忘れてしまっんです

【054】万城目学「鹿男あをによし」より

世はブログ全盛であります。ところが世代によってその書き方が大きく異なる事に気付きます。お若い方は割と短い書き込みがお好きなようでありますが、我々オッサンは、まとまった量のきちんとした文章を書きたい人がほとんど。かくいう私も、放っておけば文章はどんどん長くなつてしまいます。

こうした老若ろうにやくの差はメールでも顕著です。若い人のメールは、「行く行く。で、いつ？」なんて感じのモノが多く、どうしても違和感を感じてしまうのでありますよ。私にとってメールは「電子的な手紙」という

認識。故に、少なくとも宛名や、自分の名前（シグニチャ）や、簡単なご挨拶文は必須だと考えております。「宛名？メアドが書いてあるじゃん」だと？ おいおい、その若けえの！メアドはその名の通りアドレスで、宛名じゃなくて住所なんだってば。少なくとも目上の人へ出すメールには、最低限の^き気いを使えよな。

私が社会人になった頃を境に、メールが急速に発達しました。それまでは電話全盛の時代であった訳です。そこに突如^{とつじょ}登場したメールというツールは、万人に対し文章作成能力を問うという状況を突きつけました。企業では、こぞってメールの為の研修を用意。勿論何パーセントかは、メールの使い方や、POP3、SMTPの仕組みなど物理的な仕掛けに関するモノでしたが、そのほとんどは、ビジネスマナーや社会人としての常識的なスキルに分類されるモノでありました。ようは、企業がこ

ぞって作文教室を開催したという訳であります。

ビジネス文書特有の言い回しが御座います。例えば、「書類を送るの
で中身を読んでおいてね」と伝えたい場合、「宜しくご査収さしゆうくだ下さいませ
様、お願い申し上げます」と書いたりネ。こういう言い回しを研修で徹
底して練習させられたって訳であります。電話と違ってメールは後々ま
で残りますし、誰に転送されるか分かりませんからね。ミスがあつた場
合の影響は、電話の比ではありません。結局のところ、恥を搔かかねえ為ための
研修だったのでありますよ。

ある意味、こうしたメールの台頭たいとうと時を等しくして社会人になつた幸
運に、大いに感謝しております。だって文章を書く研修を受けさせて貰
つて、少なくとも作文に対するアレルギーは皆無になりましたからね。
逆にデジタル世代である筈の今の若い衆のほうが、To、Cc、Bccの使い

分けが出来なかつたり、まともな文章が書けなかつたりと、時流に遅れている事がしばしば。学校は一体何を教えてるんじや！ラ行変格活用よりも前に、まともなメールの使い方を教えるべきだと感じているのは、私だけじゃありませんまい。

こうした傾向を鑑かんがみますと、ツイッターをはじめ、「つぶやき」のツールが若者にウケているのも、領うなずける話であります。しかし、「つぶやき」は本来、記録として残されるべきモノでは無いと思うのです。

つぶやきなんて、まともな文章ではありませんからな。そもそも正式な発言として機能させる事自身に無理があるのです。にもかかわらず有名な人のツイッターへの発言をつかまえて、「失言」として大々的に取り上げているマスコミも、何か分かってない感じがするんだなあ。そもそもですね、「つぶやき」って他人に知られないように喋る言葉であった筈

で、だとすると、ツイッターって、その「つぶやきを公表する」というコンセプトモデルからして、既に破綻はたんしているように思うのですがね。

メソポタミアの楔型文字くさびがたしかり、殷王朝の甲骨文字こうこつしかり、文字とはそもそも記録の為に生まれたモノであります。そういう「文字」というツールを使おうという以上、記述責任を覚悟しなければならぬのは道理でありましょう。若ぶつてツイッターを使っている阿呆な政治家は、その怖さを思い知るべきであります。リーダーたるもの失言無きように、吟味に吟味した上で考えや意見を公表すべきであり、決してつぶやきレベルの言動を他人に察知されてはならないのは自明であります。

文章のウェブへの公表は、ブログ炎上等のリスクを覚悟すべき行為であります。こうした「文字」の特性を踏まえてさえいけば、その意義は多大であると思います。こうした記録無くして、例えば今年の今日、

自分が何をしていたかを思い出すのは、実際のところ至難でありますからね。

人間は文字に残しておかないと、どんなこともいつかは忘れてしまうんです。

万城目学^{まぎめまなぶ}著「鹿男あをによし（幻冬舎）」の中のお言葉です。本来、

記録の為だけであれば、非公表の日記で十分な筈。例えば防備録として

の機能だけを考えると YasZone も一般^{かた}の方に公表する必要な

ど無いように思えます。しかし文章のクオリティという面から見ますと、

読者の目を意識する今の方式の方が、格段に高いレベルを維持出来ると

思うのです。少なくとも誤字脱字が無いように、推敲^{すいこう}の上、公表するよ

うにしておりますしね。後で自分が読んでみて面白いと思う為には、少

なくとも他人様に普通にお読み頂けるレベルでなければならぬでしょ

う。読者の目を気にしなければ、きっとそこまでの手間は掛けないと思うのです。

誰かが読んでくれていると思うだけで、張り合いが出て参ります。非公開な日記であれば、Y a s z o n e もこんなに長く続かなかったかも知れないな、と考えている次第です。

ところで話は変わりますが、私最近、この万城目学という作家に注目しております。彼の歴史＋SF系の作品は秀逸でありまして、グイグイと小説世界に引き込まれていくと申しますか、何しろ一気に読めてしまいます。今回挙げさせて頂いた「鹿男あをによし」の他にも「プリンセス・トヨトミ」、「鴨川ホルモー」、「ホルモー六景」、「偉大なる、しゅららぼん」と、どれもおススメなのでありますよ。

だれも知らない道を通って

だれも知らない野原にすれば

太陽だけがおれの友だち

そうだ俺には俺しかいない

俺はすべてをひとりのぼっち

【055】谷川俊太郎「ひとりのぼっち」より

ひ

とりのぼっちと孤独は、一般的には同一視されがちですが、私は、両者は根本的に違うものであると考えています。「孤独」は何としても避けたい、忌むべき状態の一つでありましょう。対して「ひとりのぼっち」は、ある意味、私にとって快樂の一種ですらあるのです。

人が最も強く孤独を感じるのは実は周りに誰も居ない状態の時ではなく、逆に多くの人に囲いたんまれていて時なのだそうでありましゅうじんす。衆人環境の中で自分だけが異端であると思ひ込んでしまった時の疎外感そがいかんこそが、最も強烈な孤独感を誘発すると、ものの本には書いてあります。そう云われれば、鬱病の方は強い孤独感を感じ、その癖、布団から出る事さえ困難になると聞きます。対人恐怖とは他人とのコミュニケーションを避けたい欲求では無く、疎外感を感じる可能性の高い、衆人環境を嫌悪けんおする志向しこうなのかも知れません。

現代において、たった一人で山の中に居るといかたう状態は、ある種贅沢ぜいたくであるとも申せまししょう。一人暮らしの方が部屋に一人で居るのとは根本的に異なる状況です。部屋にはテレビがあるでしょうし、画面の向こうには多くの人の存在を感じるでしょう。テレビを視聴すると云う行為は、

衆人環境に身を置く事と同義なのであります。疎外感を感じている方は、テレビを見ると、余計にその疎外感が強くなるというのも頷ける話です。

私は「贅沢なひとりぼっち」を楽しむのが好きで、自転車で峠に向かう事が多々あります。昨今のハイキング・ウォーキングブームで、完全に無人の峠というのは皆無であります。それにしても人の少ない環境って、日頃のしがらみや仕事の事などを忘れて、心からノビノビした気分になれるのでありますよ。

ここに書いて、多くの方が殺到したらそれはそれで嫌なのですが、最近のマイブームは、檜原村ひのはらの時坂峠ときさかへのサイクリングであります。武蔵五日市から檜原村方面に、都道33号線檜原街道を進み、村役場のT字路を右折。有名な豆腐のちとせ屋の左側の道をズンズン登っていくと、道はみるみる急になります。しばらく林の中の鬱蒼うつそうとした道を進むと、

突然、大きな茅葺きかやぶの屋根が目飛び込んできます。こんな山の中に集落が存在する事がちよつとした驚きであります。道はこの集落を縫ぬうように高度を稼いでいきます。自転車を漕ぎながら息が上がります。集落を過ぎ、尾根筋を抜けて山の反対側に出ると、パアつと一気にに視界が広がります。崖に沿って、ガードレールすら無い道がトラバースしていきます。道の片方は怖い位の高さの谷。山のまっただ中。周りには誰も居ません。集落も見えません。鳥の声だけが聞こえてきます。まさに、素敵なひとりぼっちであります。

だれも知らない道を通って だれも知らない野原にすれば
太陽だけがおれの友だち そうだ俺には俺しかいない
俺はすてきなひとりぼっち

谷川俊太郎の詩「ひとりぼっち」の中のお言葉です。こういう場所へ

オートバイや車で出掛けても、ひとりぼっちを楽しむ暇なく、あつという間に通り過ぎてしまうでしょう。かといって徒歩では、そこまで辿り着くのに一苦勞。その点、自転車というのは絶妙の距離感と速度感を持つておりまして、ひとりぼっちを楽しむ為の最適なツールであると断言出来ます。

さてここで皆様に情報を一つ。檜原村の時坂峠とっさかは、峠の茶屋までで舗装が途切れています。道路の終点なのです。多くの車やオートバイや自転車はここで一休みして、元来た道を下っていきます。ちよつとお待ち下さい。確かにこの峠の茶屋からの眺めは格別でありますから、それだけでも十分、峠を堪能出来ます。でもこの先に、更なるお楽しみが存在するのでありますよ。

峠の茶屋の奥には登山道が続いています。マウンテンバイクならば何

とか走行可能なシングルトラック。ここを五分ほど歩いていくと、突然、立派な門構えの木造の家が見えてきます。門の奥には水車が回っているのが見えます。これが知る人ぞ知る、蕎麦処そばどころみち子であります。土日だけ営業している隠れ家的蕎麦屋。水車の石臼で挽ひかれた蕎麦と、近隣の山で採れた山菜の天麩羅てんぷらは絶品でありますぞ。

とっさか 時坂峠をトコトコと登り、素敵なひとりぼっちを堪能した後、隠れ家で美味しいお蕎麦に舌鼓を打つ。汗をかいた後の蕎麦つゆのしよっぱさと、天つゆでなくお塩で頂く天麩羅の美味しさといったら！！こういうのを本当の贅沢と呼ぶのかも知れませんなあ。お勧めですよ！

本稿執筆時点では山道を歩いていくしかなかつた蕎麦処みち子ですが、2012年に入つて道路の延伸が計られ、現在では未舗装ながら、車で行けるようになっております。

秋という季節は

清浄化の作用を持っているがのようだ

【056】星新一「声の網」より

太

平洋高気圧の勢力が弱まってきたすと、シベリアからの涼しい空気が南に下がって参ります。秋であります。日中の陽光はようこうはまだ十分ギラギラしているのですけれども、空気はこう何と申しますか、清冽せいれつさを含み始めていますのです。少なくとも真夏の、あの纏まとわりつくようなベタつとした感じはありません。

自転車に乗るには最高の季節の到来です。暑さ寒さひがんも彼岸まで。真夏の頃と、明らかにパフォーマンスが異なります。同じ坂を同じスピードで登っても、心拍数が低く抑えられるのです。ドリンクの消費量も格段

に減りました。勿論、運動をし続ける訳ですからそれなりの量は飲むのですけれども、暑さに起因する発汗分は相当大きかったのだと思われま
す。感覚的には、飲む量は真夏の半分以下つてイメージ。少なくとも休
憩たひの度たひにガリガリ君を食しよくす事はなくなりました。

湿度が低いのかというと、実はそうでもありません。空気がしつとり
していると表現したら良いかしらん。特に裏高尾・小仏や、陣馬街道・恩方おんがた、
檜原村・時坂峠ときさかなどの、里山さとやまの気持ち良さと言ったら！心なしか大気の
透明度も上がっているように感じてしまいます。

秋という季節は清浄化の作用を持っているかのようだ

星新一著「声の網」からのお言葉です。ロードバイクに乗っていて一
番気持ちの良い季節。食べ物も美味しいしね。さあ、積極的にお出掛け

するぞ！
今週末はいよいよ、
グランフオンドハケ岳
であります。楽し
みだなあ。

知らない街を歩くのは

いっだって素敵なことですよ

【057】江國香織「すきまのおともだちたち」より

カラ携からスマートフォンに機種変更して一番良かったと思う事。それは、ちゆうちよ躊躇せず^{ちゆうちよ}に安心して道に迷えるようになった点であります。

自転車でのお出掛けは二つの側面を持っています。一つ目は「運動」です。体を動かす事は無条件で気持ちが良いですし、峠に登れば達成感もあります。私の場合、主にこれを目的として出掛ける事がほとんどな為、どうしても行き先がマンネリになりがち。今日は百六十キロほど走ろうと思えば、大月↓富士吉田↓山中湖↓道志街道のルート。二時間で五十キロ程で更にちよつと峠もと考えれば小仏峠往復という具合に、負

荷に応じて既にルートのバリエーションが揃そろっているのでありますよ。

二つ目の側面は「探検」です。初めての場所に出掛けて色々散策するのは楽しいもんです。ワクワクしますよね。ところが、もしかしたら私のA型という血液型に起因しているのかも知れませんが、初めての場所に行く際に、かなり綿密に下調べしてしまいう性癖があるのです。地図でルートを確認するのは勿論、るるぶで見所みどころなんかも調べちゃう。結局自分で事前に練り上げた観光ルートを、丁寧に自転車で辿っていただくになっちゃうのであります。これじゃ探検という意味のワクワク感は半減してしまいます。

行き当たりバッタリで良いじゃん。みなさんそうおっしゃるのですが、下調べ無しでのお出掛けにはどうしても抵抗が御座いました。家に戻ってこれなくなったらどうしようという不安を払拭し切れなかったのでは

ります。知らない方は「おいおい、たかが自転車で出掛けるだけなのに、戻れなくなるなんて大袈裟おおげさだなあ」とお感じになるかも知れません。しかしですね、ロードバイクに乗って一日お出掛けすれば百六十キロなんて普通の距離。道に迷えば家に帰ってこれなくなる事だつて十分に考えられるのでありますよ。

ところでスマートフォンって凄いですねえ。どこにいてもGPSを使ってグーグルマップ上に自分の位置が表示されるんですから。これさえ有れば感性のおもむくまま、好き勝手にポタリング出来ます。だつて常にカーナビを持っているのと同じですからね。どんな状態からでも安全に帰ってこれるといふ訳です。スマートフォンを持つ事で、A型特有の心配性を克服し、安心して探検を楽しめるようになりました。

帰り道の心配がないだけではありません。最寄りのコンビニや自転車

店や食堂がいつでも検索出来ますから、補給や休憩についても安心です。こうなりやもう、スマートフォン無しでは出掛ける気がしません。

知らない街を歩くのは、いつだって素敵なことです。

江國香織著「すきまのおともだちたち」（集英社文庫）からのお言葉です。自転車という乗物には絶妙な速度感があります。自動車やオートバイでは見逃してしまうところもすっかり発見出来る遅さでありながら、歩いていては到底到達し得ない距離を稼げる速さがある。こうした、散策に最も適したアイテムで、初めての街を探検する喜びと言ったら！

最近では更に高度な楽しみ方を見い出していました。名付けて「迷子ごっこ」であります。知らない道をズンズン進み、わざと迷子になってみる遊び。好きなように進んで好きな場所で写真を撮る。実はスマー

トフォンの他にGPSロガーも持っておりますので、撮影した時刻と正確にシンクロさせる事で、後でその写真の場所がどこだったのかを簡単に特定出来るのであります。子供のように迷子になっている自分を楽しみつつも、最先端の機器を使つて後からきちんと記憶を辿る事が出来る。そんな装備が数万円で手に入るなんて、何と素晴らしい時代なのでしょう！！

さて来週はどこで迷子ごつこを楽しむ事にしましょうか・・・。

単純である事は究極の洗練である

【058】ガー・レイノルズ「プレゼンテーション」より



ロードバイクにお乗りにならない方から見れば、「一日に百六十キロまでなら普通」とか「東京から出掛けて山中湖でほうとう食べて帰ってくるサイクリング」なんて、ちよつと異常に感じるかも知れませんか。実際には、慣れてしまうとあまり大層な事では無いのでありますかね。

長い距離を走るとなると、水分やミネラル分の補給は必須。その為にサイクリング時は必ずボトルを携帯し、ひんぱん頻繁に水分補給しながら走るのであります。このボトルを自転車に搭載する金具の事を、ボトルケージと呼びます。

自転車専用のボトルは、飲み口に工夫がしてあり、口で吸うと中身が出ますが、通常の状態ではロックされていて漏れる心配が無い機構になっています。手で蓋ふたを開ける必要も無く、停まらずに走りながら飲むには最適な造りという訳。こうしたサイクルボトルの直径は七十四ミリで統一されています。故にボトルケージもこの大きさになっているのですが、この七十四ミリという寸法、五百ミリリットルのペットボトルに比べるとかなり太いのであります。ですからボトルケージに五百ミリリットルペットボトルを固定する事は出来ません。実際にやってみると分かりますが、かなりガタガタゆるに緩い状態ですので、振動で簡単に落ちてしまうのです。

私は、今までトピーク社製のモジュラーケージⅡを使っております。サイクルボトルを持っていない時でも、ペットボトルを携行

出来るようにという配慮からです。付属のネジを回転させる事で、通常のサイクルボトル用としても、五百ミリペットボトル用としても使えるだけでなく、細身ほそみの缶コーヒーまで固定出来るという、可変機構を搭載したアイデア商品です。これを使えばどんな状況にも対応出来ると、実は、ほくそ笑んでいた訳でありました。

少なくとも私の場合、ロードバイクを買い物用途に使ったりという事はほとんどありません。ジャージを着てレーパンはを穿き、ヘルメットにアイウェアにサイクルグローブをつけ、ビンディングシューズはを履いてサイクリングに出掛ける訳ですから、よく考えますと、ボトルを携行していないなどというシチュエーション自身が、全く存在しないのであります。勿論、出先で五百ミリのペットボトルを買う事は御座います。しかし中身をボトルに移してペットボトル自

身はその場で捨ててしまおうのです。

思い起こしてみますと、トピーク社製のモジュラーケーシングII導入以来、一度もサイクルボトル以外のモノを固定した事がありません。私にとってモジュラーケーシングIIの可変機構は、実は無用の長物以外の何者でもなかったのであります。

現在のメイン自転車、ボンバー号（通称：ピンクちゃん）は、細身のクロモリフレームのロードバイクです。ガチャガチャと様々な調節機構の付いたモジュラーケーシングIIは、お世辞にも似合うとは云えません。そこでボトルケーシングを買い換える事に致しました。どうせなら、よりシンプルなものの方がピンクちゃんにマッチするでしょう。そこで選んだのが、タイオガ製のステンレスボトルケーシングです。モジュラーケーシングIIと対極をなすシンプルさ。ステンレスのパイプを曲げただけの構造です。

単純である事は究極の洗練である。

ガー・レイノルズ著 (Garr Reynolds) 熊谷小百合訳「プレゼンテーションZEN」の中のお言葉です。シンプル・イズ・ベストという表現が御座います。こうした当たり前の事を忘れていました。モジュラーケージIIを使っていた時には普通に感じていたのですが、タイオガ製に換えてみると、今までのモノは、細身のクロモリフレームには、あつていなかったと気付きました。

こんな風に、ピンクちゃんを自分好みにチョコチョコ改造していくのも、自転車趣味の大きいなる楽しみの一つなのであります。

メロスの頭は からっぽだ

何一つ考えていない

ただ わけのわからぬ

大きな力にひきずられて走った

【059】太宰治「走れメロス」より

先

日出場したグランフオンドハケ岳でのお話。既に百キロ以上を走破そうは

こぶちさわ

きよさと

し、あとは道の駅小淵沢から清里の森への登りを残すのみ。日頃の運動

不足が祟って体力はガタ落ち、脚は売り切れ、腰痛まで発症する始末。

絶望的な登りを前にして、弱気の虫が頭をもたげます。

ソロツリーリングであれば、間違はなく長〜い休憩を取るであろう場面。

いや、もしかしたら完走を諦め、輪行してしまいかも知れない状況。ところがイベントだと、これがまだまだ頑張れるのですから、ホントに不思議であります。

こうしたサイクリイベントでは、各チェックポイントにおける足切り時刻が設定されており、時間内にチェックポイントを通過出来ない場合は、^{いやおう}否応なく回収バスに乗せられてしまいます。勿論こうした物理的な条件をクリア出来なかった場合は、完走を諦めるしかありません。私が申し上げたいのはこういう物理的な事では無く、もっとメンタルなお話についてなのでありますよ。

大きなサイクリングイベントでは、あたかも川の流れのように、人々が一つの方向に進んでいきます。私の前にも人・人・人。私の後ろにも人・人・人。私に抜かされる人もいれば、私を抜かしていく人もいる。

抜かしても抜かしてもまだその先にならずと人が居て、抜かされても抜かされてもまだその後ろに人が連なっている。思わず「人生航路」という言葉を思い浮かべてしまいます。こうした状況では、脳が考える事を放棄し、だせい情性だけで前走者について行くような不思議な感覚に陥る事があります。特に疲弊しきつている時ほど、その傾向は強く現れるようです。

メロスの頭は、からっぽだ

何一つ考えていない

ただ、わけのわからぬ

大きな力にひきずられて走った

太宰治著「走れメロス」の中のお言葉です。火事場の馬鹿力とでも申しましょうか、イベントでは普段の自分の力以上の事が出来てしまう事があるから不思議であります。ま、こんな事考える以前に、百二十キロ

程度のサイクリングでヤラれたりしないだけの最低限の体力維持をしておくのが先なんですがね。三年連続出場のこの大会、昨年も一昨年ももつと余裕がありましたし、そもそも最後まで走りを楽しめましたもんね。今年には完全な準備不足。やっぱ練習不足&ダイエット不足での出場はいけません。これからは、もつと真面目に自転車練習しようと心に誓う私でありました。

大人びんて結局 子どものなれの果てだもんね

【060】みうらじゆん「LOVE」よる



い歳した大人が、よりによつて自転車に夢中になるなんて馬ッ鹿ばかじやねえの。．．ええ、そうですね。至極もつとご尤もな御意見ですね。分かっちゃいるんですよ。分かつちやいるんですけど、どうにもこうにも止められないので御座いますよ。私の事をお子ちやまチックとお嗤わらいになりますかね、そもそも機材スポーツって、そういう面を色濃く持ち合わせていると思うのです。そして世の男性陣ときたら、こうした機材にのめり込む傾向がとつても強いようなのですなあ。

ゴルフばかり、スキーばかり。金属で出来たシャモジのお化けを十何本も並べて、スイートスポットだのキャビティだの反発係数だの手元調

子だのと蘊蓄うんちくを並べる。スキーに至つちや単なる板に過ぎねえつてのに、アイロンでワックス溶かしてスクレーパー掛けたり、ヤスリでエツジを八十八度に研いだり。しまいにや「板のチューンナップ」だつてさ。包丁ほうちよう研ぐのもチューンナップつて云うのかい？

しかも、ゴルフもスキーも自転車もやらない人から見れば、一々驚く程の高額で、更にそいつをしよつちゆう買い換えたくなるつてえんですから、誤解を恐れず敢あえて云わせて頂けば、世の男連中はみんな病気に相違ありません。ちなみに前述のゴルフの話、スキーの話は、全て私自身自身の過去の実体験であります。我ながら道楽な男でありますなあ。

近所の自転車用品ショップワイズロードに行きますと、そりやもう、機材大好きおじさん達あふで溢れかえています。何十分間もシートポストを選んでいる人。ステムを物色している人。みなさん一様に目をキラキ

ラさせていらつしやいます。ご存じない方にご説明申し上げますとですね、シートポストとは、サドルとフレームを繋いでいる「棒」の事で、ステムとは、ハンドルを固定する為の「金具」の事であります。大の大人が「棒」や「金具」を真剣に選んでいて、しかも店員に何やら質問などもしている様子。当の店員は「棒」に関する蘊蓄うんちくを語り始め、客はそれに熱心に聞き入っています。しかもこの「棒」が一万円以上するなんて普通の事。冷静に考えれば、ちよつと異常な世界と云えそうです。

ねえねえ父ちゃん、これ買ってよう。何？そんなに高価いのか。こんなもんは一人前に稼ぐようになったら自分の金で買いなさい……と云われてたんで、今こそ自分の金で買ってまゝす、という殿方達で、ワイズロードの部品売場は今日も大盛況なんでありました。ふふ、かく言う私も立派なその一人なんですけどネ。

大人なんて結局、子どものなれの果てだもんね。

みうらじゅん著「LOVE」（角川文庫）の中のお言葉です。そんなんです。世のオサーンのほとんどは、普段偉そうにしても、心は少年のままなのであります。精神年齢は十歳頃で止まってしまっていて、以降全く進歩無し。それと比べりや女性って大人でありますなあ。こうして考えてみますと、普段かみさんに軽く見られがちなもの、仕方が無い事なのかも知れませんネ。

何を捨てるかで誇りが阻われ

何を守るかで愛情が阻われる

【061】桑原晃弥「ステイブジヨブズ神の遺言」より

現

在の私の主力機（自転車）は、ボンバー号（通称：ピンクちゃん）

であります。こいつが完成するまでの顛末記は、拙文「新しい自転車を

てんまつ

手に入れる！」をご覧頂くと致しまして、本日は、購入主／発注主とし

て仕様を決定していく難しさについて、話を進めて参ろうと思います。

自転車のような機材スポーツにおきまして、利用目的や方向性を決める行為が、機材選択作業のうちの大きなウェイトを占める事は自明でありましょう。ましてやピンクちゃんのようなオーダーフレームであれば、メーカーが想定し指定する「雛形」ひながたなんぞ存在しない訳ですから、方向

性の模索もさくも含め、あらゆる使用状況を想定しながら仕様を決めていかなばなりません。

ツールドフランスに出場するようなプロロード選手達からの高度な仕様要求は、それはそれはシビアであると聞きます。同じ選手であっても完成形と呼べる単一のジオメトリ仕様を持っている方は稀まれとの事で、山岳ステージであったり、平地のスピードレースであったり、はたまた石畳いじ区間の長いレースであったりという状況の変化に合わせて、自転車の仕様を変えているのだそうです。

勿論私はプロ選手とは対極たいきょくに位置するオサーン自転車乗りですから、シチュエーションに合わせて複数の仕様のフレームを用意するなんて贅ぜい沢たくが許されよう筈がありません。そこで私のピンクちゃんは、ある意味様々なシチュエーションに対して、一台でオールマイティに対応し得るう

仕様となっています。あ、スミマセン。こんな書き方をしますとあたかも自分で仕様を決定したかのような誤解を招く恐れがありますね。具体的な仕様はマンダの大將に決めて貰ったのでありましたよ。

ちなみに私が大將に伝えた性能に関する要求は、次な様なものでした。八十キロ、百六十キロ程度のサイクリングに出掛けて疲れにくい自転車。集団走行の想定されるレースでの使用は考えていない。でもマウント富士ヒルクライムには出るかも知れない。六十歳代になっても和田峠を足付き無しに登れる事が理想。ただし、激坂でのタイムは全く気にしない。漕ぎ出しの軽さよりも楽に時速三十キロで巡航出来る事が優先。

こうした曖昧模糊とした要求を元に、あいまいもこ具体的なジオメトリやパイプ材

質を決定し、しかもそれがドンピシャに乗りやすいのですから、私がマングの店長の事を「稀代きだいのインタプリタ」とか「自転車界の伝道師でんどうし」とか呼ぶのも納得して頂ける事でありましょう。いやあ、見掛けはアイスクリームの大好きな普通のおじさんに過ぎないんすけどねえ（笑）。

こうした伝道師が身近に居ない場合は、自らみずかいくつかの仕様を切り捨てていく必要が生じるでしょう。例えばの話、楽に乗りたいがスポーティさがスポイルされるのは嫌だ、というのは我々が持つ当然の欲求であります。実際にはコンフォートモデルを選択するかそれともスポーツモデルを選択するかという究極の決断を強いられるのが、現実というものであります。両立を求めたいのは山々です。しかし帯たすきに短し襷ちゆうように長しな中庸ちゆうようなものになるのは何としても避けなければなりません。大枚をはたいてトロンとした特徴の無いものを買うのは愚ぐと云うものであります

よう。どういった用途や仕様を優先するか。まさに悩みどころです。ロードバイクは高価ですから、適当にホイホイと買う訳にはいきません。どうしても譲れない部分を守りつつ、涙をのんで仕様を捨てていき、最終的なコンセプトを煮詰めていく作業は、苦しくもワクワクする行為であつたりします。実はこうやって悩んでいる時が一番楽しいんですよ。

何を捨てるかで誇りが問われ、何を守るかで愛情が問われる。

桑原晃弥著「ステイブジョブズ神の遺言」(経済界新書)からのお言葉です。至言でありましょう。ここを楽しまないで衝動買いをしてしまふのは、勿体無いの一言に尽きます。十人のローディーが居れば十通りの悩みが存在した訳でありまして、他の人のこうしたお話を聞きするだけでも凄く楽しいのであります。自転車仲間の呑み会ってこんな話題だけで何時間も盛り上がれますもんねえ。自転車にお乗りにならない

方からみれば、きつと理解不能な図なのでありましようなあ。

諸君、異論があるか

あれば ひとつひとつ即下だ

【062】森見登美彦「夜は短し歩けよ乙女」より

最近、私の自転車仲間のUさんという女性の方が、ご自身のブログで以下のごとき宣言をなさいました。

わたくしは・・・うっかりと・・・

C A A D Xの存在を知ってしまいました！

だ、誰かあああ、わたくしを止めてっ！

「およしなさい」と言っっっ！

解説させて頂きましょう。C A A D Xと云いますのは、米国キャノン

デール社製のシクロクロスバイクというカテゴリに属する自転車の事です。Uさんは、この新しい自転車に魅^みせられ、欲しくて欲しくてたまらなくなってしまったのでありました。

シクロクロスバイクというカテゴリは、あまり一般的ではないかも知れませんが。ドロップハンドルが装着されており、見た目はロードバイクにそっくり。フレームサイズもホイールサイズもロードバイクと共通です。大きな違いはタイヤでありましょう。三十四ミリの太めのブロックタイヤが採用されているのであります。二十三ミリ幅のロードタイヤに比べるとかなりの太さです。そうです。シクロクロスはロードバイクにそっくりなシルエットを持ちながら、歴^{れつき}としたオフローダーなのであります。

乗車したままではクリア出来ないセクションでは、自転車^{かっ}を担いで走

らねばならない関係上、フレームの前三角部分にはボトルケージもありませんし、ワイヤの取り回しも、担ぐ際に邪魔にならないように工夫されています。そうそう、ブレーキもロードとは異なります。泥詰まりによるトラブルを回避する為に、一般的なサイドプルブレーキではなく、カンチレバーブレーキが用いられているのです。

このように、細かい仕様の違いはあるにしても、見た目、シククロクrostロードはそっくりであります。勿論Uさんはロードバイクを所有されていきます。しかも彼女のモノは、同じ米国キャノンデール社のC A A D 9というアルミニウム製ロードバイク。対して今回Uさんが食指を動かしているC A A D Xは、実は同社のロード用フレームC A A D 8の親戚筋にあたるアルミフレームですので、現在所有している自転車と同一メーカー製で同一シルエットの、しかも下位グレードのものを買おうとし

ている事になります。

現在彼女がお持ちのCAD9と、新しく欲しいCADXはシルエットはそっくりですが、オンローダーかオフローダーかという意味で、用途は全く異なります。故に機能的な面から考えれば、今回のお買い物には十分な必然性が認められそうであります。ところがですねえ、Uさんは、29erのマウンテンバイクも所有していらつしやるのですよ！

Uさんは、シルエット的にも機能的にも重複する、複数の自転車すでを既にお持ちな訳でありまして、故に、購入に際して少なからぬ呵責かしゃくをお感じになったのでありましょう。それが、欲しくて欲しくてたまらないにも関わらず、「だ、誰かああ、わたくしを止めて〜！」という、あたかも自らの購買意欲にブレーキを求めるかのような発言をするに至った理由だと思われまます。

カンの良い皆様ならば、もう真実を見抜いていらつしやるかも知れませんがね。そうです。Uさんは「だ、誰かあああ、わたくしを止めてー！」と云いつつ、初めからC A A D X購入の意志を固めていたのでありました。欲しいモノは欲しい、だって欲しいんだもの。その気持ちは良々く分かりますですよ。でも初めから気持ち固まっているのなら、他人に意見を乞う必要など無いのに、（笑）。

諸君、異論があるか。あれば、ことごとく却下だ。

森見登美彦著「夜は短し歩けよ乙女」（角川文庫）の中のお言葉です。

一見理不尽な問い掛けの様に感じるかも知れませんが、異論があるかと思いきながら、その実、全てを却下しようという訳ですから、そもそも問い掛ける必要など無いとも思えます。ところがリーダーが集団を思う方向へ牽引しようとする場合、実際にはこの程度の押し強さが有つてちよけいんう

ど良い位なのでありますよ。

ふふふふ。それにしてもUさんって、きっぷ気風の良い方ですなあ。重要な局面でリーダーシップを全然発揮出来ない民主党の御歴々には、Uさんの爪つめの垢あかでも煎せんじて飲んで頂きたいと思う次第であります。又は、政治家の先生は生半可なまはんかな知識や考えを振り回す事を自重し、自らのリーダーシップの無さを認めた上で、素直にお祈りでもしておいて下さいな。「なむなむ」とネ。（ははは、「夜は短し歩けよ乙女」を読めば分かりま
す）

無難な事ほど、ハッピー思いのおは無駄な事です

出来ない事は神様がお望みでないのだと思いたい

【063】マザーテレサ「マザーテレサ愛の言葉」より

最

近、平日の午前中の自転車練習のコースを変えてみました。以前は

こぼとけ

小仏峠に好んで出掛け、それはそれで結構満足していたのであります。

ところがこのルートは、平地区間が長過ぎるのが難点。小仏の登り口である国道二十号西浅川交差点までは、基本的に平坦な浅川サイクリングロードを通る事になります。小仏自体は好きなのですが、そこに至るまでのこの平地区間に、最近少々飽きてきてしまったのであります。

近場でそれなりにパンチの効いたコースを、と考えたのが、是政橋か

れんこうじ

ら連光寺坂を登り返すルートでありました。ウォーミングアップを兼ね

これまじ

て多摩川サイクリングロードを是政橋まで南下。JR南多摩駅から連光寺坂を登って頂上の連光寺坂上交差点を左折。尾根幹線おねかんせんに出て乞田經由こったで百草園もぐさえんの山に登るといいうルートであります。地元の方以外には何のこっちやら分からないかも知れませぬ。ま、多摩丘陵を登ったり降りたりする、家の周りにしちや結構なアップダウンのあるコースだと理解しておくんないな。距離は四十キロ弱。

特に連光寺坂は、距離2・4キロ、平均斜度3・4パーセントのルートで、タイムトライアルをする方を結構見掛けます。都下では練習コースとして割と有名なのであります。

私としましても、やはりこの有名なコースをタラタラとサイクリング的に登るのも何だなぁという訳で、ストップウオッチでタイムを取るようになっております。連光寺タイムトライアルT Tであります。コース上に激坂部分げきさかは

無く、終始ダラダラとした登りが続きますので、意外と良いタイムを出すのが難しかったり致します。いい気になって前半をとばし過ぎますと後半タレてしまいますし、だからと云って温存し過ぎると完全に全力を出し切れぬまま連光寺坂上交差点に到着してしまう事もしばしば。本当はチェックポイント毎に目標ラップを設定して追い込むのが一番良いのですが、まだ練習コースを連光寺坂に変更して日が浅いものですから、最適な通過タイムデータを持っていないのでありました。

今までの最高タイムは五分半位。平均時速に換算しますと二十六キロです。何度試しても六分台になる事も無い代わりに、五分十五秒を切る事も出来ません。こうなると気になるのは他人のタイムであります。皆さんは一体どの程度のタイムで登っているのでありましようか。

ネットで調べてみますと、ありやりや、皆さん普通に四分台で登って

いらつしやるようなのですよ。いいないいな。僕ちんも四分台で登れるようになりたいなあ。その為にはアベレージで時速三十キロ出さなきゃならない訳かあ。どうしたらそんなに速くなるのかなあ。ちえ。羨ましいなあ。

無理な事をどうこう思い悩むのは無駄な事です。出来ない事は神様が
お望みでないのだと思いますい。

女子パウロ会出版「マザーテレサ愛のことば」の中のお言葉です。そうなんです。思い悩んだって仕方がないんです。やはり歴然とした能力の差って奴は存在する訳で、クヨクヨ悩んだって出来ないものは出来ないのです。私が連光寺坂で五分半が限界なもの、神の意志であると考えて諦める事にします。だってしようがないもんね。生まれ持つての能力の問題なんだから……。でも、一言だけ言わせて下さい。神様

の
い
ぢ
わ
る
！

これは考えてみるようなものじゃない

やってみるものだ

目を閉じて息をとめて飛び込む

そして、まぶさまぶな洞察を得るんだ

【064】ウォルター・アイザックソン「ステイプジョブズ」より

サイクルイベントに出ますと、ご夫婦でいらつしやつてる方々かたがたにどう

しても目が行ってしまいます。羨ましいうらやのであります。夫婦で自転車に

乗れたら楽しいだろうなあ。

うちのかみさんは、趣味らしい趣味を持っておりません。本も読まな

いしDVDも積極的には観る事はありません。巷ちまたのオバサマ達のように

韓流スターを追いかける事もしませんし、楽器に触る事も無く、スポーツもしません。こむぎ（犬）の散歩と徒歩での通勤が唯一の運動であります。

休みの日は子供達を置いて、私と二人で出掛ける事は結構御座います。かといって彼女から能動的に「ここに行きたい」という事は稀まれであり、ほとんどの外出の計画は私がたてております。

十年ほど前にゼファー750というカワサキの大型バイクを買ってあげて、それでも数年は乗り回していましたが、割とすぐに熱が冷めて乗らなくなってしまうました。そもそも彼女一人でツーリングに行った事は一度もありません。最初は物珍しさもあつたと思いますが、そもそも二輪車の運転が大好きという訳ではなかつたようです。数年前に彼女のゼファー750はレッドバロンに引き取って貰いました。だつて車検か

ら車検の間の二年間の走行距離が数キロだったのですよ！ これって、車検の為にレッドバロンに移動した距離そのもの。いくら何でも、こんな状態で車検を取り続けるのは勿体無いでしょ。

現在は仕事が趣味とも云える状態のかみさん。それなりに責任を求められる立場で働いているらしく、仕事にやりがいを感じているのは良いのですが、歳とって働けなくなった時に趣味が無いというのも寂しい話であります。例えば今の年齢から自転車に乗っていけば、六十歳過ぎても続けられると思うんですが、じゃあ定年後に始められるかというところ、かなり疑問でしょう。そもそも六十歳を越えて新しく始められる趣味って、相当限られちゃいそうですもんね。何か、定年後に自分を持て余してしまう悲しいサラリーマンオヤジみたい……。

趣味という意味でも運動という意味でも、ロードバイクは最適だと思

うのですがね。ちょうど一年ほど前、一度だけ彼女をショートサイクリングに連れ出した事があります。秋晴れの中、多摩御陵ごりょうまでの平地往復三十五キロ。当日は楽しそうにしていたかみさんも、翌日に筋肉痛になってしまい「サイクリングは辛いからもう行かない」の一点張り。この一年間、何度か声は掛けてみたのですが、暑いから行かない、寒いから行かない、花粉だから行かない、風が吹くから行かないと、言い訳ばかりでちつとも腰を上げようとしないのであります。

思い切ってかみさん用のロードバイクを買っちゃえば、それなりに「乗ってみようかな」という気になるかなとも考えましたが、ゼファアー750の事を考えると無駄な投資に終わりそうので、買うまでには至っておりません。そもそも彼女からは「ロードバイクなんていらぬ」とはつきり言われてますもんねえ。

それにしても、始める前から色々想像し理屈をこねて、結局、一步を踏み出す事が出来ないのは、勿体無いと云いますか、機会の喪失と云いますか、彼女自身の為にもならないと思うのですがね。

これは考えてみるようなものじゃない。やつてみるものだ。目を閉じ、息をとめて飛び込む。そして、さまざまどうさつな洞察を得るんだ。

ウォルター・アイザックソン著、井口耕二訳「ステイブジョブズ」(講談社)の中のお言葉です。アップルを造りピクサーを造ったステイブ・ジョブズのようなカリスマであれば、これ位強い言葉を投げ掛ける事も出来ましようが、我が家の暴れん坊將軍であるかみさんに、こんな強く意見するなど無理も無理。あゝあ、かくして巷の夫婦サイクリングを見る度に、羨望のため息をつくしかない私なのであります。

俺達おもちやは何でもお見通しだ

だから大事に遊ぶんだぜ

【065】ピクサー「トイ・ストーリー」より

ロードバイクブームは相当な広がりを見せているようで、勿論、道を行き交うロードバイクの数の増加を見ればそれは明らかなのでありますが、それ以上に、ここ最近のバイクラックの整備状況にはちよいとばかり驚かされます。

バイクラックとは金属パイプで作られたロードバイク用の駐輪施設ちゅうりんの事でありまして、腰の高さに渡されたパイプを両側で支えている形式のシンプルな構造。このパイプにサドルの先端を引っ掛けて停めておくのであります。バイクハンガーとも呼ばれます。吊つるすという事を考えま

すと意味的にはこちらの表現の方が適切かも知れませんね。ロードバイクにはスタンドが無く自立出来ませんから、何かに立てかけて停めざるを得ません。数台であれば壁などに立てかける事も可能でしょうが、限られたスペースにまとまった台数を停めるには、こうしたバイクラックが必須となります。

自転車でお出掛けすると当然の如くお腹ことが減ります。出先で美味しいものを頂くのはサイクリングの大いなる楽しみの一つ。でも問題は、レジャーとサイクルジャージという、ロードバイクに乗らない一般の方々から見れば変態へんたいとしか映らないこの格好でお店に入る勇気が中々出ない事でありましょう。ところがお店の前にバイクラックが設置してあれば状況は一変！！バイクラックが設置してあるロードバイク乗りおくにフレンドリーなお店という訳で、この変態的な恰好のまま、臆せず堂々と入

店出来るのであります。

お店側も商売であります故、バイクラックを設置するだけで、自転車乗りという新規の顧客が確保出来るとあれば、バイクラックの設置に積極的になる店の急増も頷けるお話ではありません。

さてそろそろ本題に入りましょう。単なる駐輪設備に過ぎない筈のこのバイクラック。実はロードバイクの展示場としての側面もあるので御座います。他人の機材を眺めるのも、自転車乗りにとって大いなる楽しみだったりするのでありますよ。雑誌でしか見た事のない超高級カーボンフレームや垂涎すいぜんのディープホイールを実際この目で見るなんざ、目の保養を通り越して、心根こころねまで揺さぶられますからねえ。

ところが停車してある自転車が、全てこういう綺麗なモノばかりでは

ないのでありますなあ。明らかに整備を怠っていてチェーンはドロドロ、ワイヤには錆さびすら浮いているロードバイクを見る事も最近とみに増えました。おそらくは清掃や注油まで自転車屋さんに任せまかつきりで、ご自分では何もしないのであります。いくら一生懸命練習に励んでいらつしゃったとしても、機材を大切にしないのはちよつと興きざめと言わざるを得ません。

自転車は道具ですから乗れば傷も付きますし、ヤレても参ります。私の申し上げているのはこうした使い込んだ故ゆえの傷いたみや、突然の雨や急な悪路の出現による汚れの事ではなく、明らかな整備不良車両の事。趣味の機材であるが故、道具に対するこうした雑な扱あいは、とつても恰好悪いと思うのです。

俺達おもちゃは何でもお見通しだ。だから大事に遊ぶんだぜ。

ピクサー制作のアニメーション映画、トイ・ストーリーの中のお言葉です。ロードバイクは大切な大切な大人のおもちゃ。やっぱりきっちり整備して大事に遊ばなくっちゃね！

ところでこの台詞の原文は、*We toys can see everything. So play nice.*です。日本語版では「大事に遊ぶんだぜ」と意識されていますが、原文の *So play nice.* という表現は、実に深いじゃありませんか。ロードバイクで信号無視したり、声も掛けずに後ろにピッタリついたり、二段階右折を怠ったりといったマナーの悪い方も結構いらっしやいますからね。こういう方々には原文の通り、「ナイスに遊ぶんだぜ」とでも言うてあげたい気持ちなのであります。

四十秒では何度しな

【066】宮崎駿監督作品「天空の城ラピュタ」より



よいよ寒くなつて参りました。サイクリストの皆様、いかがお過ごしでいらつしやいますか。ちゃんと自転車乗つてますか？

私はと申しますと、最近ダメダメなんでありますよ。今の時期、仕事が繁忙期はんぼうの準備期間に入っております、ミーティングが目白押し。結局ミーティングに取られてしまった分の作業は、夜中に持ち越しになる事がほとんどであります。例えば今週なんぞ、土日もなく、平日も一番早く帰ったのが夜の三時。遅い時は朝の六時でやんすよ。まさに貧乏暇無し状態。

普段は平日の午前中が自由に使えるという仕事の特殊性を活かして、結構シヨートサイクリングを楽しんでおります。午後からの仕事の事を考えますと遠くまで出掛けようというのは難しいにしても、晴れてさえいればだいたい五十キロ弱位のソロ・サイクリングに行くのが、通常のパターン。朝起きてさつとサイクルジャージに着替え、二時間ほど自転車で走り回りますと、気持ちよく汗をかけます。一旦帰宅しさつとシャワーを浴びて、ゆったり昼ご飯を食べてから仕事に向かう。こういう書き方を致しますと、我ながら何とも優雅で健康的な生活をしておりますなあ。ま、その分、夜は限りなく遅くまであくせく働くのでありますがね。

こうした生活パターンも冬に入って気温が下がって参りますと、ちよつと崩れ気味になってしまうのが難点であります。ご存じの通り自転車

の仕度は一旦裸にならねばならず、特に寒い冬の朝は、意を決するまでに時間が掛かるのであります。ソロ・サイクリングは他人に気を遣う必要が無い反面、誰かを待たせてしまう心配がありませんから、出発時についついグズグズしてしまうのでありますよ。しかも連日の寝不足ともなりや、布団から出る決心が中々つかねえのも無理からぬ話でありましたよう。

四十秒で仕度しな。

スタジオジブリのアニメーション映画「天空の城ラピュタ」における、空賊の女ボス、ドーラのお言葉です。これからは出掛けにダラダラしたりせず、女ボスに檄げきを飛ばされたと思つて一気に仕度しようと決意する私なのであります。ふふふ。こういう決意を固めるのつて、いつでも夜なんすよね。明日の朝こそは四十秒で仕度して、ぴしつと出掛けるぞ！

明朝の自らのモチベーションの高さに期待しつつも、天気予報の最低気温情報を見たりしやすくと、布団から出られるか不安になるのであります。我ながら意志弱えし。

多摩川左岸の府中四谷橋の上流三百メートル付近に、セブンイレブン

引っ込んでるの

【067】東川篤哉「謎解きはディナーのあとで」よる

多摩川左岸の府中四谷橋の上流三百メートル付近に、セブンイレブンが御座います。多摩川サイクリングロード（以降、CRと表記）を実際に走ってみますと分かるのですが、CR沿いのコンビニって思いの外少ないのでありますよ。CRを離れてちよつと走れば幾らでもあるのでしようがね。だいぶ下流になります。二子新地の手前、川崎市高津区の西松屋に併設されたローソンまで、CR沿いのコンビニって無いのではないかしらん。しかしこの西松屋の隣のローソンに寄るには車通りの多い

府中街道を渡らなければならず、そういう意味でも、立ち寄りやすい府中四谷橋のセブンイレブンはサイクリストにとって重要な補給ポイントの一つと申せましょう。特に府中四谷橋セブンイレブンの隣はサイクルシヨップ・ワイズロード府中四谷店ですので、ここで休憩を取る多摩川CRを愛するサイクリストの方々は更に多いので御座います。故にこのエリアは多摩川CRの徐行ポイントでもある訳です。何しろ多くの自転車や歩行者がCRから降りたりCRに上がったります場所ですからね。

ここで皆様に再確認しておきましょう。私が申し上げている多摩川サイクリングロードは、その名に反して自転車専用道路ではありません。道路交通法上はいわゆる自歩道。つまりは自動車やオートバイは進入禁止だが、歩行者と自転車は互いにシェアすべき道、という事になります。特に近年、歩行者とロードバイクの接触事故が社会問題化しており、そ

うでなくとも歩行者との速度差に本能的な危険を感じ、ほとんどのロードバイクは時速二十五キロ以下で、安全にジェントルに走っております。運動強度を上げたいアスリート系ローデイは、測道（車道）に降りて走るとというのが、最近のCRのコモンセンスとなりつつあるのです。

ところがこうしたCRの常識を心得ず、時速三十五キロ以上のスピードでかつとんでいるロードバイクもまだまだ少なくありません。歩行者に対しチンチキチンチキ、ベルを鳴らして威嚇いかくし、犬の散歩の脇を駆け抜ける。はいはい。あなたが速いのは良く分かりましたよ。スゴいですね。でもね、平地の追い風でロードバイクで時速三十五キロ出すなんて誰でも出来る普通の事。ロードバイク買ったばかりなんですか。ふふ、ちよつとみつともないですね。

土曜日の午前中、多摩川CRはたくさんさんのロードバイク、ジョギング

の人、ウォーキングの人、犬の散歩の人で賑わっております。私を先頭に三台ほどのロードバイクが石田大橋の下を南に向かって時速二十五キロ以下で流しておりましたところ、後ろから疾走してきたロードバイクに、びゅーんと抜かされました。しかも抜かした直後に私の進路を塞ぐふさぐかのようにいきなり左車線に戻るではありませんか。ブレーキを掛けなければならぬ位のタイミング。明らかに無理な追い越しです。黄色と青の某有名店のチームジャージを着ていらつしやいます。ちえ、嫌な感じ。

危ねえヤツだなあと思っていたら案の定、セブイレブンの信号ところで左側から歩行者が土手を登ってきているというのに速度を緩めないゆるではありませんか。「あぶねえぞ、出てくんない！」暴言を吐きつつ右車線にはみ出して歩行者を避けたところまでは良かったのですが、前方

からは大学生と思われるランニング集団が二列縦隊で走ってきています。これを更に避けようと左にハンドルを切りつつ前輪ブレーキを強く掛け過ぎたのでしよう。ロードバイクは前輪を軸にきれいに一本背負いを食らった形でCRにたたきつけられました。

そういうあなたのほうこそ引っ込んでろつつーの！

東川篤哉著「謎解きはディナーのあとで」（小学館）からのお言葉です。さすがに件くだんのお嬢様刑事よろしく、ここまでの啖呵たんかを切る人はおりませんでしたが、現場にいた誰もが、一本背負いの彼に対し同じような嫌々な感情を持った事は違いありません。

レーパンが破けてお尻が顔を出している情けない格好の一本背負い君。これこそ自業自得ってもんでしようなあ。大怪我でもしていればそれな

りに助けたかも知れませんが、ヘルメットも着用しておりますし手袋も装着しておりますから、多少の擦過傷以外すりきずの大きな怪我は無い様子。となりますと彼の暴言は周りの皆に見られております故、彼を弁護したり救護したりしてくれる人など誰もおりません。

ま、尻丸出しの件は目の前がワイズロードですから、すかさず新しいレーパン買っちゃえば良いだけなんすけどね。でもレーパンって結構高くて一万円以上しますから彼の所持金が足りるかどうか。ま、立日橋方たっぴはし面にニキロほど戻れば、お召しになっているチームジャージのお店の立川店が御座いますから、そこでならツケで購入出来るんじゃないですか？ お店もちよつとフレンドリーなネーミングですしネ（笑）。

門松は 冥土の旅の「里埋

めでたくもふり めでたくもなし

【068】一休宗純「狂雲集」より

明 けましておめでとう御座います。この正月休みは、割とゆっくり過

おみそか

ごす事が出来ました。大晦日と三が日だけというたった四日間の休暇で

かくじようぎよるい

したけれども、旅行へも行かず、角上魚類で買ってきた海鮮系食材を中

たいだ

心に、家で飲み食いしちや本を読んだりDVDを観たりという、一見怠惰

な、でも割と充実した生活を送る事が出来ました。

れんこうじ

ま、一応、連光寺坂を含めた四十キロ程度のご近所自転車散歩一回、

犬のさんぽ

七キロ程の裏山拡大こむ散歩二回、四十キロ程のオートバイ（ZRX1100号）での近所へのお出掛け一回。かみさんと高幡不動尊へ初詣に行き、ともちんさん、うり坊さんいつもの串どころゼロに集まり三人でプチ新年会と、結構、外出もしております。ね？家でのんびりしつつもちよつとは外出もすると云う、理想的な正月休みであつた訳です。

一方高二と中三の二人の息子たちは、頭がウニで出来ているのではないかと思う程、毎日々々朝から晩までくだらねえバラエティ番組をとろんとした目で観^み続^つけておりまして、ホントに馬鹿っぽい事この上無いのであります。ま、正月早々叱りとばすのも何なんで放置しておりますが、日本の将来が大いに心配になりましたよ。

そんなこんなで、めでたく年が明けまして、今年私は私、四十七歳になります。うへへ、オサーンだなあ。お、まだまだ若いねえ。ひとは様々

に勝手な感想を宣のたまいます。こうした年齢に関する感覚は多分に主観が入り込むものでありますから、四十七歳という年齢に対する印象も世代によつて大きく異なるのも無理からぬお話です。ただしですね、私の個人的な感想を申し上げますと、ついこの間まで三十代だった筈なのに、あつと云う間に四十代に入つたと思つたらもう四十七歳！あと三年で五十代になつちやうじゃん、という感覚なのであります。何しろ一年の経つこの早い事と云つたら。まさしく光陰矢の如し。

門松は 冥土の旅の一里塚

めでたくもあり めでたくもなし

いっきゆうそうじゆん きよううんしゆう

一休宗純「狂雲集」からのお言葉です。一休宗純とはいわゆる「頓とん

知ち一休さん」の事。うゝむ、さすが一休さん。含蓄がんちくのあるお話ですなあ。

一休さんではありませんが、私も何か最近、人生の残り時間を気にする

事が多くなつて参りました。厚労省が発表している「簡易生命表」なる資料によりますと、日本人の四十六歳の平均余命は35・17年となつておりまして、としますと、私の場合、人生の折り返し点はとつくの昔に通過しちやつてる訳でありますしね。

拙文「明けましておめでどう御座います」でも書かせて頂きましたが、なるようになるさ、ケセラセラ、ケンチャナヨの精神で、楽しく過ごしていこうと考えております。それにしても、やりたい事、遊びたい事ばかりで時間が全く足りません。もう少し休暇が増えると嬉しいのですが、ま、この不景気に仕事があるだけ有り難いと思わなくっちゃね！

考ごまかすとすゝる事が

実考ご過ぶてゐるがらだといふ事に

ふと気が付いたりする

【069】北方謙三「史記武帝紀」より

私はデジタルギミックが大好きであります。元々システム系の仕事に就いていたという事もありますが、情報機器無しでは成り立たない程、これらのマシンに依存した生活を送っております。

電話は勿論スマートフォン。あらゆる情報をインターネットを経由して収集します。ただしスマホの入カデバイスはどうしても好きになれませので、入力ポメラのキーボードを利用し、QRコード経由でスマホに転送しています。私はバリバリのキーボード世代ですからね。以前

は常にノートパソコンを持ち歩いていたのですが、重量やバッテリーの保ちを考えると、スマホ+ポメラは非常に便利なのであります。そもそもスマホはW i f i が使えない場所でも通信出来ますから、接続性という意味では、PCを中心とする環境よりも向上した位です。

機能的には十分過ぎるスマホ+ポメラによる私のモバイル環境であります。ホントは欲しいのを我慢しているモノがあるのですよ。先日、URIBOZのともちんさんとうり坊さんと私の三人でプチ新年会をした際に、ともちんさんの最近購入したばかりの新車（ワンボックスの自動車）が話題に挙がりました。その時うり坊さんが鞆からおもむろに取り出したのがアップルのi P a d。3G回線搭載モデルですのでW i f i の無い場所でもネットに接続可能です。メーカーのホームページにサクッと飛び、ともちんさんの新車をその場で確認。機能的には私のスマ

ホと変わらない筈なのですが、やはり大きな画面は見やすいですなあ。特に私のような老眼ズには、画面が大きいのは特筆すべきメリットなのでありますよ。

うり坊さんは私と同じく、デジタルギミック大好き人。どこに行くにもiPadを携帯していらつしやいます。サイクリングにもiPad持っていく人は稀だと思ふなあ。ところがこれが羨ましくて堪らないのでありますよ。私のAndroidスマートフォンよりも明らかに動作が軽そうですし、そもそもデザイン的にグツとそられるものが御座います。欲しいよう欲しいよう。iPadが欲しいよう。でも機能的には現在の環境とほぼ重複してしまっていますから、無駄な買い物である事は確実。買ってすぐは物珍しさもあつて楽しめるでしょうが、購入を悔いる事になるのは時間の問題でしょう。

どうせ買っても無駄になるのだし、故に色々考えても仕方がないや。ゆえ

i Padの事を考えるのはよそう。スマホもポメラもあるじゃないか。

かはんせい

十分な接続性も可搬性も確保されているじゃないか。忘れよう。ところが

がそう思えば思う程、i Padが欲しくなるのは何故なぜでありましょうや。

考えまいとする事が、実は考え過ぎていてるからだという事にふと気付いたりする

北方謙三著「史記武帝紀（角川春木事務所）」からのお言葉です。あ

ゝあ、こんなに悩むんだったらスマホなど買わずに、ガラ携+i Padで環境構築しとけば良かったゝ。とか云いつつ、スマホ+ポメラも強烈に便利で、結局のところi Padはカッコいいから欲しいだけなのであります。あゝあ、新年早々、物欲全開だし。

大切なのは 自分のしたいことを

自分で知っている事だよ

【070】トーベ・ヤンソン「ムーミン谷の夏祭り」より

世

は空前の就職難だと云われています。テレビの報道番組なんぞ観み

ひたん く しようすい

すと、悲嘆に暮れ憔悴しきつたした顔の学生さんたちが丸の内あたりをトボトボ歩いている姿が映っている事もしばしば。大変だなあと思う反面、ちよつと羨ましくもあります。だって一生の仕事をこれから自由に決められるのですからね。

就職イコール会社への入社という図式が出来上がってしまう事は、社会経験の無い学生さんにとっては有る程度やむを得ない事とは云え、あまりにも「会社に入る」という意識が強くなり過ぎていのように感じま

す。「受かるエントリーシートあの書き方お」なんて、純真な若い人たちを煽るだけのサイトも増えていきますから、焦って本質を見誤ってしまうのも無理からぬ事ではあるのですが・・・。まずは「どんな仕事に就くか」があつて、その上で、その自分の夢の実現方法としてのフィールドを選ぶ、すなわちどの会社を受けるかを考えるというのが、本来あるべき就職活動の姿だと思ふのですがね。

私くらいのオサーンになりますと、全く新しい業界に切り込む事は、実際のところ無理であります。しかも今日この瞬間にも家族を養う為の収入を得続けなければならず、しゅんじゅん 逡巡する時間すら許されません。稼働中の発電所と同じであります。発電所の停止は地域の停電を意味します。是非はともかく稼働し続けるしかないので。結局のところ、現在の職場環境を維持するか、それとも経験を即戦力として活かせる同業種の新

しい職場を選ぶかしか、方法が無いのであります。

誰も皆、幼少の頃はなりたいたいモノを持っていた筈です。新幹線の運転手になりたい、ケーキ屋さんになりたい・・・等々^{e t c}。それがいつの間にか「販売系」「金融系」などという大括りな業務カテゴリーわおくで考えて、型通りの就職活動をするようになってしまふ。確かに自動車の販売が上手なセールスマンの方は、その手腕を別の物品の販売——例えば建売住宅の販売など——にも活かしていく事が出来るでありましょう。しかしそれは転職やキャリアアップを考える際のお話であつて、新卒者の考える事ではない筈です。

様々なご意見は有るでしょうが、私は仕事には熱情パッションが必要であると考えています。車好きだから車を販売する職に就きたい。車好きだから同じ車好きのお客様と話があうに違いない。こうした基本的なパッション

が最初の就職には絶対に必要なのです。だって新卒での就職では業務経験は当然ゼロな訳で、売りはパッションしかないのですから。例えば「販売系」なら何でも良いや、という意識では就職活動が上手くいかないのは当然とも云えましょう。少なくとも採用側は、学生さんに業務経験が全く無い事は知っており、しかも実際に務めてみなければその業務に本当に適正がみられるかどうかは分からない事を、百も承知しているので。となると結局のところ、パッション＝情熱しか見るべきものは無いのですからね。

大切なのは、自分のしたいことを、自分で知っている事だよ

トーベ・ヤンソン著、下村隆一訳「ムーミン谷の夏祭り」（講談社文庫）の中のスナフキンのお言葉です。他人と違う事をしないとという没個性的意識ではなく、自分のしたい事を全力で追求するべきという意味で

は、就職活動も、自転車も、婚活も同じでありましょう。こころへんこんかつの事を若い方にきっちりと教えてあげるのが、我々オサーンの役目かなと思うのでありました。ああ、それにしても、こんな説教じみた話をして、我ながら爺臭せえ。

説明とれないと分かるのでもれば

説明とれても分かるののだ

【071】村上春樹「1Q84」より

お正月、家でのんびり本を読んでおりましたら、同じく新聞を読んでいたかみさんが「防衛省がサイバー兵器を開発」って大きく載^のつてるけど、これってどゆこと？と聞いてくるではありませんか。

げげ。新年早々変な話題をふられてしまいました。この手の話題の説明には、聞き手側にもある程度の知識が必要とされるのでありますよ。分かりやすく説明しようとするほど話が長くなっちゃうし、かとは^{はしよ}云って端折って説明すると「どうせ分かんねえだろから一応形だけ説明してやるけどよ」という投げやりな態度だと取られかねません。弱った

なあ。ま、向こうから質問してきたのだし、ここはきちんと正確に話を
してあげる事にしましょ。



あのさ、コンピュータウイルスって言葉を聞いたことがあるでしょ。

もしかして悪い事をするプログラムは全てウイルスだっと思ってない？

でしょ？ やっぱりね。そうじゃないんだよ。実はパソコン内の情報を

勝手に盗み出したり、消したり、かいざん改竄したりする、いわゆる悪意のある

動きをするプログラムは、マルウェアって呼ばれてるんだ。例えばこう

した、情報を盗み出す為のプログラム、つまりマルウェアを防衛省のサ

ーバにインストールすれば、テロリストは不当に機密情報を得る事が出

来るよね。ところがこのインストールの方法が難しい。防衛省のサーバ

ールームに物理的に侵入する事は不可能だろうしね。まさしくトムクルー

ズのミッションインポッシブルだよ。それじゃあつてんでネットワーク経由で遠隔インストールしようとしても、簡単に逆探知されちゃう。インターネットはIPアドレスという番号で管理されているから、プロバイダの接続ログなんかを調べれば、誰がやったかすぐに分かっちゃうんだよ。直接接続はすぐに足がつくって訳さ。そこでコンピュータウイルスを使った方法が登場するって訳。

コンピュータウイルスも悪意のある動きをする訳だからマルウェアの一種である事は間違いないんだけど、自己増殖機能を持っているのが特徴なんだ。ウイルスプログラムはマルウェアとして悪意のある動きをする機能の他に、別のコンピュータに自分の複製、つまりコピーというかクローンを送り込むという機能を持っている訳さ。例えばある日時になった途端にあるサーバに向けて、該当コンピュータ内のメール記録を送

付するという機能を持ったウイルスを作るとするだろ。これを防衛省に送るのではなくて、適当なその辺のパソコンに送りつける。あたかもインフルエンザの感染が拡大するかのよう^{きゆうすうてき}に級数的にこのウイルスは広がるって訳さ。でも特定の日時が来るまでは何の動きも無いから誰も感染に気付かない。上手くいけば巡り巡って防衛省のコンピュータにも感染するかも知れない。

実際にこの方法では、ある特定の日に、感染した複数のコンピュータが一齐に、あるサーバめがけて情報を送り始める事になるから、ある意味社会問題化しちゃうよね。愉快犯ならともかく、機密情報を得るのが目的だとしたら、これじゃ上手くない。そもそも作業集中によりその送り先の特定のサーバは簡単にダウンしちゃうだろうしね。これでは実際に機密情報を得る事が出来ずテロリストも困るだろ？ だから実際に

発症するのは防衛省内のコンピュータだけに限定する訳さ。防衛省が使っているIPアドレスマスクを指定する方法もあるし、例えば特定のキーワードが文書に含まれている場合だけ情報を送出するとか、っていうのも一つの方法だよ。それ以外の大多数は、いわゆる健康保菌者というのかな、自身が感染しそれを他人にも広めちゃうんだけど発症しない訳。コンピュータの世界ではこういうコンピュータの事を「踏み台」と呼んだりするよ。読売新聞の表記もそうなってるね。

この方法ならばテロリスト自身すら感染経路を関知していない訳だから、逆探知されて自分が特定される確率はスゴく低くなるよね。しかも盗み出した情報は暗号化の上、公共の電子掲示板にでも書き込むようにでもしておけば、更に足が付きにくくなる。厳密に云えばこの掲示板の閲覧記録を調べられれば犯人が特定されちゃう訳だけど、この掲示板を

直接見に行くのではなく、この掲示板に情報を見に行くという機能を持った別のウイルスを作ってばらまいておけば、犯人を特定しづらくなるでしょ。だって一万台の感染パソコンがこの掲示板サイトを見に行くとして、接続記録を見れば犯人の接続記録も含めて怪しいダウンロードが一万と一件ある訳だからね。警察も犯人を特定するのは難しくなっちゃうだろうね。

ここまでは分かったかな。実際の手口はこんな単純なものではなくて、一連のこうした動きを察知されにくいようにする為に、DDoSというアクセス集中攻撃と併用する事がほとんどなんだ。例えば世界中のたくさんさんのパソコンが防衛省のホームページに同時にアクセスしたら、負荷が掛かり過ぎてサーバがダウンするだろ？ 勿論、これは実際にホームページを閲覧するのではなくて、ある時刻になると防衛省のホームページ

ジに閲覧トランザクションを投げるコンピュータウイルスをばらまいておくのだけれど、これをやられるとサーバを何度立ち上げ直してもその度にダウンしてしまうことになる。防衛省のシステム管理グループはこのトラブルに掛かりきりになるよね。だってそうだろう。国防を担う省庁になの広報サーバがダウンしているのが世界中にバレちゃう訳で、日本の危機管理能力の低さを露呈ろうていする事になるんだからね。こうやってシステム管理者の多くを囿おとりのトラブルで釣っている間に、本当の攻撃を行なう訳さ。

ここで確認しておきたいのが、本当の攻撃も囿の攻撃も、全てウイルスに感染したいわゆる「踏み台」と呼ばれるコンピュータによってなされるという事実だよ。踏み台はそれ自身はテロリストのものではない。単にコンピュータウイルスに感染しちやっただけのコンピュータだから、

勿論、所有者に悪意がある訳ではないのさ。それどころか踏み台にされる事自体、被害者でもある訳。被害者を処罰する訳にはいかないよね。

こうした一連の攻撃に対応し、自動で逆探知しながら送信元を攻撃するプログラム、―防衛省はこれを「サイバー兵器」って呼んでるけど―を開発しているっていうのが新聞の記事な訳。ね。おかしいと思わない？ 読売新聞には図入りで順々に逆探知していくイメージ図が載っているけど、そもそもウイルスを中継しているのは交換機でも何でもなし、善意のコンピュータなんだよ。特に家庭用のパソコンなんて全ての接続記録を保存しておく訳ではないし、例えばイベントログという形で記録を残す設定になっていたとしても、永久に全ての記録を保存している訳じゃない。古いものから消しているのさ。全記録をとっておいたらいつかはパソコンがパンクしちゃうだろ？ 感染と攻撃にはタイムラグがあるから、

その間にログが失われている可能性は高く、ほとんど逆探知は不可能だろうね。それがわざわざタイムラグを置く一番の狙いさ。

さて、こうした一連の動きのキーは「踏み台」な訳だけど、全てのパソコンにアンチウイルスソフトをインストールしておけば、理論上、ネットワーク上に踏み台は存在しなくなりそうだね。ところが実はこれが結構難しいんだ。理由は二つ。一つ目の理由は維持が面倒で高価な事。

うちにある全てのパソコンにはシマンテック社またはマカフィー社のアンチウイルスソフトがインストールされているんだけど、これは年間契約を更新し続けなくちゃならない。現在稼働している六台のパソコンの更新料は合計で年間数万円だよ。しかも放っておけば契約は切れてしまつてアンチウイルス機能は働かなくなってしまう。俺がメンテナンスの全てを行なつてたから、そんな事知らなかったでしょ？ 全ての家庭で

ここまで管理が徹底出来ているとは思えないよ。ま、今後は罰則も含めた法制化が進む可能性はあるだろうけどね。

二つ目の理由はもつと深刻。これまでの踏み台に関する話の中で、俺が「パソコン」という言葉を使わず、徹底して「コンピュータ」と言っていた事に気付いてた？ 実はネットワーク上にはパソコン以外にも様々なコンピュータがあるんだ。主にリナックスと呼ばれるUNIX系のオペレーティングシステムで稼働しているコンピュータさ。リナックスは無料のOSだから様々な機器の制御に使われているよ。例えば家にあるハードディスクレコーダ。地上波放送だけでなくBSやCATVの録画も出来る機械。単なる家電じゃないんだ。これってCATVの番組表データを取得する為にネットワークに繋がっているんだよ。OSはおそらくリナックス。番組録画待機の為に二十四時間三百六十五日通電さ

れているだろ。OSが走っている訳だからこれも立派なコンピュータな訳。しかもアンチウイルスソフトのインストールもOSのアップデートのしようも無いんだから、いつ感染して踏み台として使われてもおかしくないよね。他には監視カメラの制御システムなんかもそう。光電話ひかりのルータもね。これらの機器全てが踏み台として使われちゃう可能性があるのさ。家電のように振舞っているけど、実態はUNIXが走るコンピュータだからね。テレビ番組のレコーダや監視カメラが踏み台としてサイバー攻撃に荷担する世界。SFみたいに感じるかも知れないけど、これが現実の話なんだよ。

さつき、逆探知の為の接続記録の保存の話をしたけど、こんな機器、例えば監視カメラなんて、そもそもネットワークの接続記録を残す機能自身を持っていないのだから、接続記録をさかのぼるいわゆる逆探知なんて

不可能だろ？じゃ、読売新聞に載っているこの逆探知していくイメージは何かって事になるよね。おそらくこれは嘘というか方便だと思うんだ。だって理論的に逆探知は不可能なんだもの。

じゃ防衛省の開発しているサイバー兵器ってなにさ、って事になるのだけれど、おそらくはサイバーテロ組織が使っているのと全く同じタイプの単なるコンピュータウイルスだろうね。善意のコンピュータを踏み台として使うタイプのね。目には目をつてヤツだね。政府によるテロ行為そのもの。テロ組織と異なるのは、アンチウイルスソフトで駆除されないようにする為に、シマンテックやマカフィー等のセキュリティ会社に圧力を掛けて、フィルタリングをすり抜けるようにする点だけだと思うよ。でもこうした抜け道、すなわちシステムとしての脆弱性を作ると、テロ組織もそこを突いてくるだろうから、結局イタチごっこになっちゃ

うんだけどね。そもそもアンチウイルスソフトに脆弱性を残す事に、シマンテックもマカフィーも相当反発すると思うなあ。

日本の法律は、いかなる場面でもコンピュータウイルスの作成を禁じているのは知ってる？ ウィルスをばらまかなくても製造した時点で罪に問われちゃうんだ。だから防衛省のサイバー兵器の開発には、厳密には法改正が必要な筈だぜ。しかもこうしたイタチごっこに足を踏み入れた瞬間から膨大な予算の消費が始まる事を覚悟しなきゃならない。何億円掛けて開発しようと、ウィルススチエツカをバージョンアップされれば一発で無力化されちゃうんだからね。日本政府もそこんとこ分かってやっっているのかなあ。はなはだ疑問だね。ま、受注側のソフト会社から見れば、みらいえいごう未来永劫開発が続く美味しい仕事な訳だから、決して離しはしないだろうけどさ。

つておい！何、いねむりしてんだよ。せつかく人が一生懸命説明してるのに、寝るなよな！



説明されないと分からないのであれば、説明されても分からないのだ

村上春樹著「1Q84」（新潮社）からのお言葉です。もう多くを語る必要はありませんな。分からない事はまず自分で調べてみましょう。

それでも分からないとしたら、多くの場合、説明を受けても分からないのでありますよ。ジャーナリストの池上彰氏のニュース解説は分かりやすいと評判であります。これは氏の説明能力が天才的なのであって、普通はこうはいきません。是非ともああいう能力を持ちたいもんですなあ。ところでYaszoneをご覧のア・ナ・タ！！起きてますか！？

自然というのほ むりのままという意味だ

だが むりのままが美しいわけではない

【072】森博嗣「失われた猫」より

サイクリングの目的地として、都心に向かう事は私の場合ほとんどありません。いろいろなブログを覗のぞかせて頂きますと、都心は和菓子やスイーツの宝庫なんですな。こうした美味しいものを求めて、都心へのサイクリングを好む方は相当数いらっしやるようなのであります。

私の場合は、まず都心の道路を自転車で走る事が怖くて、どうしても敬遠してしまいます。スイーツは大いに魅力なのですがね。続いてダメ

なのが排気ガス。幹線道路を長く走るだけで、声が洩れてかしまうのです。一人で自転車で走る際は喋ったり歌ったりする訳ではないんですよ。それなのに声が出なくなってしまう。これは排気ガスによる影響に相違ないでしょう。

結局のところ、私の好む行き先は山間部という事になります。別にヒルクライムの練習をしようという目的ではありませんから、登り坂の存在が絶対条件ではありません。身体的負荷云々ではなく、私は山の清せい冽れつな空気が好きなのであります。

おいおい、「山」なんて大層な単語を使うなよ。お前さんの乗っている自転車はロードバイクじゃねえか。そもそも悪路が苦手でアスファルトの道しか走れねえってえ代物だ。舗装道路を走りながらそこを「山」と呼ぶなんざ、おこがましいにも程があるぜ。はい。その通りであります。

す。「山」は言い過ぎで御座いました。私が好きなのは里山さとやまなのです。自然と人間が共生している風景が好きなのでありますよ。

NHK・BSプレミアム（旧BSハイビジョン）の名峰めいほうグレートサミツツやワイルドライフといったネイチャー系の番組をみ観るのは大好きであります。でもその場所に行ってみようとまでは思わないのです。私にとって本当の自然は荒々し過ぎます。興味の対象とはなり得ても、好きで通い詰める場所とまでにはなり得ないのであります。

自然というのは、ありのままという意味だ。だが、ありのままが美しいわけではない。

森博嗣著「失われた猫」（光文社）の中のお言葉です。西浅川の三叉路を小仏方面に入り、そこから進んで蛇滝じやたき入り口を過ぎた辺りからは、

何となく懐かしいような優しい里山の風景を楽しむ事が出来ます。春になるとゴザを広げた上に梅の実を干してあり、ちよつと酸っぱくそれでいて甘い、独特の梅の香りが道路まで漂ってきます。そんな中をトコトコと自転車で登っていくのは、私にとって至福の時。勿論ここにも現実の生活がある事は分かっています。でも何か昔にタイムスリップしたと云うか、自分が子供に戻ったかのような不思議な浮遊感を感じるのです。

優しく包み込んでくれるかのような安心感を味わわせてくれる、美しい里山の風景。きつとこの不思議で心地良い感覚を味わう為に、暖かくなったら、小仏こぼとけや恩方おんがたや檜原ひのはらなどに自転車で出掛けする事になるんだらうなあと思うのであります。ちよつと春が待ち遠しくなつて参りましたよ。

考之過ぶると 人間は臆病になる

【073】ロン・ハワード監督作品「コクーン」より

旅

行に出掛けようとしている夫婦の、空港での会話。

大量の荷物を航空会社のチェックインカウンタに預けようとしている婦人に向かって旦那だんなが言いました。

「スゴい荷物だねえ。まるで引つ越してみたいだ」

「しよがないでしょ。みんな必要なものなんだから」

「ここまでたくさん荷物を持つてくるんだったら、ついでにりピングのピアノも持つてくれば良かったな」

「嫌味なんか言っていないで、早く手伝ってよ」

「嫌味なんかじゃないよ。ピアノの上にパスポートを置き忘れたのを今思い出したんだ」

これは極端な例としましても、同じ旅行に出掛けるにしても、世の中には、たくさんの荷物を持っていこうとする方と、より軽装を心掛ける方とに大別されましょう。私は間違いなく前者のほう。ちよつとしたサイクリングに出掛けるにしても、過剰とも思える装備を用意しないと心配で仕方ないのであります。

私の自転車のサドルバッグには、以下のものが常備されています。

- 700Cのチューブ三本
- パンク修理用のイージーパッチキット（三本のチューブを使いきってしまった時用）
- タイヤが裂けてしまった時用の強力パッチキット
- タイヤレバー

- 汎用ツールキット（ドライバ・六角レンチ等）
- 十速チェーン用コネクトピン
- チェーン切り
- プライヤ
- タイラップ
- 仏式バルブ米式バルブ変換コネクタ
（ガソリンスタンドのコンプレッサで空気が入れられます）
- 携帯手漕ぎ空気入れ
- 二酸化炭素ポンベ式空気入れ
- 二酸化炭素ポンベ ∞ 本
- ウィンドブレーカ（小さく畳むとツール缶に入っています）
- ワイヤロック

これらの物品は常に自転車に装着されています。これだけあれば普通のパンク修理は当たり前として、タイヤが裂けるほどのバーストや、チェーン破断等にも対応可能。走る自転車屋と呼んでも差し支えない程の装備です。

更に、遠出の際にはナップサックを背負う事も多く、その場合には以下の装備が追加されます。

■ 着替え

■ 帰りが夜間になってしまった場合用の強力LEDライト

■ おやつ

勿論、自転車には普通のLEDライトと点滅尾灯が装着されており、強力LEDライトはあくまでも予備的に、追加で持っているという訳。

私と一緒にサイクリングにお出掛けした事のある方にはご存知だと思いますが、私は常におやつを携帯しております。理由なんぞ^{ちようえつ}超越して、サイクリングにはおやつが必携品だからであります。こうなるともう、ポリシーの問題。おやつを持たずして遠路出掛けるとは何事ぞ。かくし

て、バナナやチョコや大福や梅昆布等のおやつを積載の上出掛ける事になります。ま、これが、みなさまをしてURIBOZのおやつ係長と呼ばせしむる所以ゆえんでありましようなあ。

昔から段取り八分と申します。段取りさえしつかりしておけば、物事ほとんど上手くいくのです。このような故障にはこう対処する。あのようなトラブルにはああ対応する。こうしたお出掛け前のシミュレーションを元に持ち物を揃えていくのが私のやり方。かくして常に、携行する荷物は増える傾向にあります。

考え過ぎると、人間は臆病になる。

ロン・ハワード監督作品「コクーン」からのお言葉です。臆病だからこそ、色々な想定を巡らせ、故に更に臆病になってしまおうという悪循環

にハマっている事も知っています。だって自分自身が臆病な人間である事は、自分自身が一番よく理解していますもの。

きっと今後も、ちよつとした自転車屋並の修繕装備を携行したままサイクリングに出掛ける癖は治らないんだろうな、と思いつつ、装備の点検に余念が無い私でありました。

スキナトキニ スキナフトヲ

「074」三島有紀子「しあわせのパン」より

前日の夜更かしのせいで、折角の休日だというのに目が醒めたら既に九時半。二月十一日（土）のお話で御座います。この時間では自転車でのお出掛けは無理かなあ。最近このパターンが頻発。反省しなくちゃ。

昨夜というか今日の明け方に読み終えたばかりの小説のあとがきを、もう一度読み返したりして布団の中でグダグダしておりましたら、枕元に犬のこむぎがやって参りました。彼女も雰囲気で今日が休日である事を察知したのでしょう。尻尾を振りつつ「どこかに行きたいよオーラ」を全開にしています。そこで、「高尾山にでも遊びに行くか？ こむ」と聞くと「うん行く」と答えましたので、そそくさと着替えて、こむと

二人で車に乗り込みました。

途中のコンビニでこむの好物のチーズパンを購入し、ハイキングの準備は万端。高尾駅前の駐車場に車をデポし、いよいよ出発です。

こむと一緒にとどりまち廿里町の住宅地を歩いていきます。今日は風もなく割と暖かで、絶好のハイキング日和。びより両界橋までは裏道をりようかい南浅川に沿って進みます。甲州街道に出てからはリール式のリードを短くし、歩道をトコトコと歩きます。それ程交通量は無いのですが結構とばしている車が多いので、要注意の道であります。

京王線高尾山口駅前からは人出が多く、迷惑を掛けないように細心の注意を払いながら遊歩道を通ってケーブルカーの駅を目指します。こむはほとんど吠えません。噛む事もしません。その点は安心です。でも、

もしかしたら犬が苦手な方がいらつしやるかも知れませんものね。注意を払うに越した事はないでしょう。

ケーブルカー駅を正面に見て、左側の脇道に入ります。稲荷山ルートいなりやまです。ここ高尾山には、山頂のビジターセンターに行く為の複数のルートがあり、中でも薬王院やくおういんを経由する一号路は多くの観光客でごった返しています。今日はこむと一緒にですから、最も人出の少ないルートを選択したという訳です。

稲荷山ルートに入つてすぐに急な登りが続き、道はみるみる高度を稼いでいきます。高尾山口駅の土産物屋が眼下に見渡せます。ここはハイカーも少ないので、こむのリードを最大限伸ばしてやります。しばらく進みますと、ルート左側下方に、まさに今建設中の圏央道インターチェンジが見えてきました。こうしてみますと高尾の山中にこれだけの建造

物を造る必要があつたかどうかちよつと疑問になる程。圏央道は渋滞緩和の為に必要である事は認めますが、インターチェンジの位置はここではなくとも良かったのではないかと思えてなりません。

登り続けますと程なく稲荷山々頂に到着です。稲荷山は東側に眺望が開けており、遙か遠くに西新宿の高層ビル群が霞んで見えます。

稲荷山からは高尾山南側の尾根を辿るように、道はアップダウンを繰り返しつつも、確実に高度を稼いでいきます。高尾ビジターセンタまであと五百メートルというところで、道がひどくぬかるみ始めました。こむも泥濘の感触が嫌なのでしよう。道脇の草の上を選んで歩いていきます。

最後の木製の長い階段を登りきって、高尾ビジターセンタに到着です。

ここつていつでもそうなのですが、稲荷山經由で泥だらけのトレッキングシューズで登ってきた我々に対して、頂上にいらつしやる方々は呆気あつけない程の軽装なのであります。中にはハイヒールの女性もいる位。稲荷山や琵琶滝から登るにはそれなりの悪路を覚悟しなければならぬ高尾山ですが、ケーブルカーやリフトを利用して途中をショートカットし、薬王院の境内を抜けてくる一号路なら、ほぼアスファルトの遊歩道だけで楽にここまで来れるのです。それにしてもあまりの装備の違いにちよつと気恥ずかしい感じが致します。学生時代に、志賀高原の丸池から熊の湯、横手山を通り、芳ヶ平を経由して、クタクタになってやつとの思いで草津白根山まで歩いてきたら、レストハウスの周りにはハイヒールを履いた観光バスの乗客がたくさん居て、汚い格好の我々が白眼視された経験を思い出しましたよ。

ビクターセンタの脇の石垣に、こむと一緒に腰掛けて、おやつを頂きます。こむはチーズパン。私は明太子おにぎり。こむは一口大に千切つてもらった大好物のパンをお座りして食べています。こむは水、私はホットコーヒーをそれぞれ自分の水筒から出して飲みます。至福。こむは大きなパンを一人でぺろりと平らげました。

帰りは四号路から分岐して、いろはの森經由で日影沢ひかげざわに下ります。こ

むと二人だけで歩く人っ子一人いない道。リードを外して自由に歩かせてやりたいのですが、この辺りにはこの時期、イノシシ用のトラばさみ（捕獲用の罟）が仕掛けられている為に、ノーリードは大変危険なのです。何しろイノシシ用の罟ですからね。こむが挟まれたら、簡単に骨折してしまうでしょう。でも、ま、リール式の伸びるリードですから、こむもそれ程不自由を感じてはいないようですが。

日影沢まで下り、小仏街道こぼとけに出ました。ここまでくれば勝手知ったる道。こむに「コーヒー飲んで一休みするか？」と聞いたところ「うん」と答えましたので、コーヒー自家焙煎の店ふじだなに立ち寄ってみる事に致しました。

ここふじだなは自転車ではしよつちゆうも来ているのですが、歩いてくる事は稀まれであります。マスターも奥さんも「ありや、今日は自転車じゃないんだ」と驚いている様子。こむはコーヒーが好きではありませんので、私だけホットを注文すると、マスターが、こむにジャーキーを持ってきてくれました。こむは余程嬉しかったのでしよう。尻尾をフリフリしながらも、きちんとお座りして、お行儀良くジャーキーを頂いております。

スキナトキニ、スキナコトヲ。

三島有紀子著「しあわせのパン」（ポプラ社）からのお言葉です。好きな時に好きな事をする幸せ。こむは、元々、千葉市の保健所で薬殺寸前だったところを縁あって引き取った犬であります。うちに来て良かったです。うちの子になって本当に良かった。あの時、まさに幸運とも云える偶然が続かなければ、私とこむとは巡り会えず、故にこんな楽しい経験は出来なかったのだと思うと、何か不思議な感じが致します。

するさし 摺差の道 こまきの 駒木野 すてき に向かって下っていたら、「好きな時に好きな事をして遊べるって大層素敵な事だね」と、こむが云いました。私は、「ほんとにそうだね」と答えたのでした。

百米メートルを十秒で走る為のマニユアルは

十一秒で走れる人のものであり

十八秒掛かる人には何の役にも立たない

【075】唯川恵「いこそ悪女で生きてみる」より

以

前は月に三誌も購読していた自転車雑誌ではありますが、最近は全くと云つていい程、読んでおりません。自転車に対する情熱が薄れてしまった訳では決してありませんよ。しかし雑誌の記事に対する興味は確実に薄れつつあると申せましょう。

自転車雑誌の記事は多様であるように見えて、実はたった三種類に帰結出来てしまいます。①ツーリングレポート、②新製品ガイド、③トレ

ーニングマニユアルの三つであります。こういう大雑把なカテゴリーズ

おおよっぱ

をしては身も蓋も無いのは分かってるんですがね。一旦こうした、襷ふため
た目で見えてしまうと、雑誌を買う熱情が薄れてしまうのも仕方あります
まい。

自転車に乗り始めたばかりの頃、最も注目し熟読したのは、ツーリン
グレポートで御座いました。車でしか行った事のない場所に自転車で到
着した際の不思議な高揚感こうようかんは、当初、格別のものでありました。自分の
中で、車でなければ来れる筈の無い場所、と決めていた地点に自転車で
来れた事に対する自信と優越感。私の場合、これが羽田であり、軽井沢
であった訳ですが、こうした感覚を味わってしまうと次々と様々な場所
に出掛けてみたくなります。ツーリンググレポートは、こうした欲求を疑
似体験させてくれる読み物であった訳です。

逆に自転車で百キロ、百五十キロと出掛ける事が日常化しますと、少

なくとも高揚感や優越感は急速に失われて参ります。この距離が「普通」になるとともに、ツールレポに対する興奮はさめてきたのであります。

次に注目したのは、新製品ガイドです。ロードバイクにお乗りにならない方から見れば、ネジやパイプや歯車などの自転車の部品が物欲の対象となり得る事実をご理解頂くのは困難かも知れませんが、何故、なぜこう次から次へと欲しいモノが湧き出てくるのか不思議な程、狂おしき物欲の風が吹きまくるのであります。いい大人が自転車のハンドルやサドルのカタログを見つめて悶々とする姿は、もんもん奇異に見えて、実はあらゆるサイクリストが通ってきた道でもあるのです。

こうした物欲への度合いは個人差が大ききようであります。それこそ一生、物欲との戦いを強いられる方もいらつしやるようですね。私の場合、ピンクちゃんを手に入れるまでの物欲番長ぶりたるや相当な重病

でありましたが、一切の妥協をせず欲求を満たせた事もあったのでしよう、新しいモノに対する興味は急速に失せ、そんな事よりピンクちゃんを磨いていたい気持ちの方が遙かに大きくなっていく状態なのであります。ま、これはあくまで一時的な状態で、しばらくすればまた物欲の嵐に翻弄ほんろうされるようになるかも知れませんがね。

こうなりますと、あれ程夢中になって読み漁あさっていた雑誌の新製品特集も、妙にさめた目で見てしまう事になります。結局のところ、私の自転車雑誌に対する興味は、トレーニングマニュアルに絞らざるを得なくなつたのでありました。

私は決して競技指向な訳ではありません。否、それどころか、トコトコサイクリングを好み不要な競走を疎うとむ、どちらかと云えば競技からは最も遠い位置にいるサイクリストであります。しかし技能の向上に興味

がないかと云えば決してそんな事はありません。今よりももっと楽に坂を登れるようになりたいと思っっていますし、疲れにくい体質を作りたいとも思っています。嗚呼ああそれ以前に、もつとダイエットに励まねばならない事も強く実感しているのです。

自転車雑誌には、トレーニングへの啓蒙記事がたくさん載っています。

曰く「自転車でマイナス五歳」、曰く「春から始めるベースアップトレーニング」、曰く「苦手が得意になる！ 上りの秘密特訓」。こうした特集には、具体的なタスクリストが付属している事がほとんどなのですが、え？ 何これ、プロじゃないんだし、とてもこんな練習を継続するなんて無理だよ、という位ハイレベルなモノばかりなのでありますよ。

百メートルを十秒で走る為のマニュアルは十一秒で走れる人のものであり、十八秒掛かる人には何の役にも立たない。

ゆいかわけい

唯川恵著「いつそ悪女で生きてみる」(新潮社)からのお言葉です。

そうなのです。世にはアスリート向けのトレーニングメニューばかり出回っていて、私のような、だらけたオサーン向けの練習方法などどこにも載っていないのであります。結局のところ自転車雑誌から興味を失いつつある私は、誰に教えを乞う訳でもなく、独りでトコトコとお出掛けしているだけなのであります。

大したことをない人と書いて

大人とも読むけどね

【076】さとうさくら「携帯を盗み読む女」より

自 転車に乗った途端に急にお子ちやま的態度をお取りになる方を時々見掛けます。自転車に限らず、乗り物を運転すると性格が豹変するひょうへん方は、割と多かつたりするのですがね。私自身は、常にジェントルでありたいと考えておりますが、あまりにも大人げない態度を取られますとそうも云ってられないのであります。男という生物は、いつまでたつても子供のままなのかも知れませんなあ。

先日自転車で、むさしいつかいち武蔵五日市からひのはら檜原村に向かつて檜原街道を走つておりました。すると一台のロードバイクが、私の後ろにピッタリついてく

るではありませんか。普通、こういう場面では後ろに付く前に一声掛け
るのが礼儀だというのに。しかも単なる追走ではありません。後ろとの
距離は車輪一個分程度以下。意図的なドラフティングです。他人から見
れば私が後続車の風よけとなって引っ張っているように見えるでしょう。
私の巡航速度は時速三十キロちようど位。道は檜原村に向かってガラダ
ラ登っており、私にしてみればかなりの良いペースです。体力を温存す
る為に先頭交代をしながら連なって走る事は仲間内では普通の事なので
すが、赤の他人に、しかも何の断りもなく引っ張って貰うなんて、明ら
かにマナー違反であります。

しかも後ろの傍若無人氏、ピツタリと付いている割には、注意力が散
漫で、何回かハスられました。あ、ハスるとは自転車のタイヤ同士が接
触する事でありませぬ。危ない事この上無し。ところが私もこの傍若無人

氏を千切つて逃げ切る自信は無く、時速三十キロ程の速度を保ちつつ瀬せ音おと之湯のゆのところの橋を渡ります。乙訓おとくにおやき店入り口の荷田子にたごの信号が赤になつたのが見えたので手信号を出しつつ減速したところ、後ろの傍若無人氏、「何だよ、一々信号なんかで停まるなよ」と聞こえよがしに呟つぶやいたではありませんか。あのな、静かにしてりやいい気になりやがって、ふざけんなよ。赤信号で停まるのは普通の事だろう？

ジェントルに生きる事を目標としております私では御座いますが、この時ばかりは、我慢ならねえと申しますか、絶対に許さねえぞと申しますか、逆鱗げきりん刺激されまくりと申しますか、怒りで目の前が白くなると申しますか、かなり頭に来たのですけれども何とか我慢したのでありますよ。ま、「黙れこのクソ野郎」位は言い返しちやったんですがね。傍若無人氏はすつ飛んで逃げていきました。我ながら大人気なかつたと反

省した次第であります。しかしどう考えても一方的に傍若無人氏が悪い状況でありましょう。しかも厳いかつい角刈りの大男に向かつてこんな暴言を吐くとは、度胸が良いと云うか、空気が読めないと云うか……。

大したことない人と書いて大人とも読むけどね。

さとうさくら著「携帯を盗み読む女」（宝島社）からのお言葉です。

大人げない行動に対して、私も同レベルの対応を取ってしまうとは、全くお恥ずかしい限り。これでは、まるで中学生同士の喧嘩けんかであります。

流石に私も四十代後半ですし、いかなる場面においても大人の対応が取れるように、もつともつと精進しょうじんしようと心に誓ったのであります。いやあそれにしても、こんなに腹が立ったのは久しぶりでありますよ。

この理論に従い ぼくは困らない事にした

【077】森見登美彦「ペンギン・ハイウェイ」より

先日、URIBOZのともちゃん氏が、インフレーター（空気入れ）を持たずにサイクリングに出掛け、その事に気付いた瞬間から大層不安になって、その日一日中ビクビクであつたお話をして下さいました。

ロードバイクにお乗りにならない方にご説明申し上げますと、ロードバイクのタイヤはすごく細く、しかも軽量化の為に非常に薄いチューブを使っているものですから、ママチャリなどの実用車に比べてパンクのリスクが何倍も高いのです。そこで出先でパンクしても立ち往生しないように予備のチューブと携帯空気入れを持って出掛けるのは、ロードバイク乗りの常識なのでありますよ。

いざという時の為に重装備で出掛けてしまう話を以前させて頂きました。やはり根が臆病おくびょうで小心しょうしんなものでしょうなあ。装備が貧弱だと不安になつてしまいます。

去年の秋頃のお話で御座います。私は自転車で宮ヶ瀬に向かつておりました。甲州街道を西進し大垂水峠おおだるみを越え、相模湖から国道412号を通つて三ヶ木を右折、更に青山を右折して一旦道志街道に入り、ヤマザキデイリー手前から宮ヶ瀬に登るルートです。ここは割と頻繁ひんぱんに訪れる通い慣れた道。この日は宮ヶ瀬の蕎麦屋、山登やまとで山菜蕎麦そばを頂こうという計画だったのであります。

とりや鳥屋中学校のところまで登つてきました。ここまですれば宮ヶ瀬湖は目前。お腹も減つて参りましたよ。山登やまとは外にテラス席を持っていますので目の前に自転車を停めて食事する出来ます。しかし大切なピンク

ちゃんにいたずらをされたら嫌ですから、いくら目の前に駐輪しているとは云え、勿論チェーンロックはガツチリ掛けますぞ。チェーンロックはいつもツールバッグに入れてあります。坂を登りながらふと何気なく、シート下のツールバッグを手で確認してみました。

え?! ツールバッグが無い!! そうか、しまった! 前日に自転車を掃除した際、ツールバッグをシートピラーから外して、そのまま積み忘れてしまったのでした。という事は……。交換用のチューブも工具も何も持っていない状態で、私は宮ヶ瀬までできてしまったのであります。どひゃー! パンクしたらどうしよう! これは大変です。

困りました。不安で不安でたまりません。そんな遠くではないと云え家からは四十キロ以上来てしまっています。パンクしても修理出来ないし押して帰るには遠過ぎます。しかも所持金は二千円程度。だって蕎麦

食って帰るだけの心算つもりでしたからね。パンクしないようにしなくちゃ。すげ、気をつけなくちゃ。

路肩には割と細かいゴミが落ちていて、それがパンクの原因となり得ます。あまり道路の端に寄り過ぎないようにしながら、ソロソロと宮ヶ瀬に到着しました。先ほどまでの解放感やウキウキ感はどこへやら、パンクや故障に対する不安で一杯です。

しかしよくよく考えてみますと、幾ら事前に心配したところでパンクの確率が減る訳ではありません。パンクしたらしたで、恥を忍んでまわりのサイクリストに工具をお借りすれば何とかなるでしょう。もし本当にどうしようもなくなったら、かみさんに電話して車でピックアップに来て貰うか、最悪、タクシーで帰っても良いのです。いずれにしろ、クヨクヨしたところでパンクのリスクは増えも減りもしないのであります。

だとしたら、折角楽しいサイクリング出掛けているというのに、クヨクヨするだけ損ではありませんか。

この理論に従い、ぼくは困らない事にした。

森見登美彦著「ペンギン・ハイウェイ」（角川書店）からのお言葉です。砂漠のど真ん中で命の危険に晒されている訳でもなく、冷静に考えれば大したリスクでは無いのであります。状況やまとつて心の持ち方一つで変わってしまうものなのですねえ。この日は山登やまとで山菜蕎麦そばを美味しく頂いた後、橋本を通せんしゃみちつて戦車道経由で無事帰かえつて参りました。

それにしても次回からは、きちんとサドルバッグを積んだか再確認を怠おろそかないようにしようつと。

慌てないもわてない 一休みひと休み

【078】テレビ朝日アニメ「一休さん」より

木の芽時という言葉が御座います。元々は樹木に新芽が出る早春の頃を指すのですが、この時期は医学的にもホルモンのバランスを崩す人が増えるのだそうでありまして、体調や精神状態が不安定になりやすいと云われています。社会的にも卒業や入学、就職や引越など環境変化が多く、そういう面からも木の芽時きにはネガティブな思考めときに陥る可能性が高くなるのかも知れません。

特にこの春就職する新社会人は、その傾向が顕著になりがちであります。それはそうでしょう。好きだみんなだけ惰眠むさぼを貪り暢気のんきに過ごしてきた大学生生活に別れを告げ、毎朝早起きをして満員電車に乗って職場に通う事

になるのです。初めての仕事への不安も大きいでしょうしね。

思い起こせば私もそうでありました。長野の大学でのんびり過ごす生活から一転、都内のソフト会社に就職し満員電車で通勤する生活に変わったのであります。自分はこんな生活を一生続けられるのだろうか。いや、もしかしたら一ヶ月も保たないかも知れない。そうした漠然とした不安の中、職場では毎日上司や先輩に叱り飛ばされ、しかし初任給は安く、日一日を過ひいちにちごすのに精一杯であった事を思い出します。

慌てないあわてない、一休みひと休み。

テレビアニメ、一休さんのお言葉です。三代將軍 あしかがよしみつ 足利義満や寺社奉行

にながわしんえもんの蜷川新右衛門との直接の親交がある割には、一休さんの居る安国寺は貧乏寺という事になっていたりして、無理な設定がなかった訳ではない

のですが、今考えれば非常によく出来たお話でありました。当時小学生であった私は、夢中でテレビにかじりついたもんであります。

慌てないあわてない、一休みひと休み。

番組の途中のコマーシャルに入る際に、この言葉は語られていました。

若い新社会人諸君には、一休さんのような余裕ある心をもつて木の芽時を乗り切つて貰いたいと、オサーン^{せつ}は切に願うのであります。頑張れ！

若い衆！！

旅をある一地に到着するだけの事業にしてしまおうという
のは馬鹿げた損である

【079】柳田国男「豆の葉と太陽」より

車や飛行機や電車に比べると、はなはだ速度が遅く荷物も積めず天候の影響をもろに受けてしまうロードバイクは、移動手段として考えると、非常にプアなメソッドであります。ところが一旦サイクリングに出掛けると、これがとても楽しいのでありますよ。

美味しいものを食べに行くとか、珍しいものを観に行くといった明確な目的だけでなく、はたまた心肺機能向上とか肉体鍛錬といった体育会的要素だけでなく、私は自転車で移動する行為そのものが好きなのであります。

私の友人に「俺の趣味は鈍行電車に乗って音楽を聴く事だ」と公言する男がいます。彼は信越や山陰や九州などのローカル線に乗り車窓の風景を眺めながらiPodで音楽を聴く為だけに、一人で様々な場所に出掛けて行きます。はつきり言って相当な変わり者であります。しかし自転車に乗るようになって彼の気持ちが少し分かってきたような気がするのです。

旅をある一地に到着するだけの事業にしてしまおうというのは、馬鹿げた損である。

柳田国男著「豆の葉と太陽」からのお言葉です。自転車とは云え車両を運転している訳ですから、他の自動車や歩行者、路面の状況など様々な情報を収集し、安全を確保し的確な判断を下しながら移動していくのは当然ですが、それ以外にも様々な風景の移り変わりを楽しんでいる自

分に気付きます。車やオートバイではスピードが速過ぎはやすて見逃してしま
うような些細ささいな事象も、自転車のスピードならばしつかり眼に留まりま
すしね。

仲間とサイクリングに出掛けるのもそれはそれで楽しい行為でありま
す。しかし集団について行こうとする意識が強く働いてしまい、道中を
楽しむという意味では、ソロサイクリングに勝るものは無いでしょう。

勿論ハイキングであれば更に速度が遅い分、もつとじっくり道中を楽し
めるかも知れません。しかし私にとって自転車の時速二十五キロ、三十
キロという移動速度はまさに絶妙でありまして、例えば先週の日曜日は、

あさかわ

じんば

おわたるみ

浅川から陣馬街道和田峠を越えて藤野に下り、甲州街道大垂水峠を越え

こぼとけ

た後、小仏峠こぼとけに登り返して浅川沿いに帰ってくるというルートでの自転
車散歩を楽しんだのですが、この半日足らずのサイクリングで走行距離

は八十キロ。サイクリングとしては比較的短距離としても、ハイキングでは現実的ではない超長距離であります。あくまでも私にとっての距離感や速度感でありますけれど、自転車は私の遊びのニーズにバッチリの移動手段なのでありますよ。

重いギア掛けて街道練習する訳でもなく、和田峠でタイムアタックに明け暮れるわけでもなく、何か美味しいものを食べに出掛ける訳でもなく、観光地などを目的地とする訳でもなく、しかもたった独りで、あいつは何を好き好んで自転車で出掛けるのだらう。皆様はそうお考えになるかも知れません。うふふ。私はトコトコと自転車を漕ぎ、風景の移り変わりを楽しむ行為自体が好きなのであります。我ながら安上がりな男でありますなあ。

いづくにもるれ

しげし旅立ちたること

目々むるむるすれ

【080】吉田兼好「徒然草」より

急

に春めいてきました。桜の花も二週間遅れでようやく咲いたと思つたら、あれよあれよと云う間にすっかり葉桜に。ローラーゴングロも嫌いではありませんが、これから暖かくなるにつれ、積極的に自転車でお出掛けしますよ。

四月に入つて清里きよさとへの二泊三日サイクリングに出掛けて参りました。

東京の西部、日野に住む身としましては、大月や甲府や清里や河口湖や山中湖は割と親しみのある地区であります。はつきり申し上げますと、

目新しいところなどあまり無い筈の、勝手知ったる定番のお出掛け場所。ところがいざ出掛けてみますと、その度にワクワクする風景に巡り会えるから不思議であります。

いづくにもあれ、しばし旅立ちたるこそ、目さむる心こころちすれ

吉田兼好著、徒然草つれづれぐさからのお言葉です。現代語に直せば、「何処どこであれ、旅に出れば別の世界が開け、目が覚める気持ちになる」とでもいったところでありましょうか。ちよつとしたサイクリングを「旅」と称する事の是非は別としましても、取りあえず、まずは出掛けてみる事が大切であると、最近とみに思うのであります。

みんぱ ぶがよく くらしています

【081】あいはらひろゆき「くまのがっこう」より

仔

犬の頃は悪さばかりしていたこむぎも、最近だいぶ大人の落ち着きを身につけてきました。うんちやおしつこの躡しつけが出来ていなかったり、何でも食べちゃったり、電源コードを嚙かったりといった事があればケージ飼かいも仕方がないでしょう。しかしこむぎは、人間が居なくても、ゆずやみみと一緒にきちんと留守番出来る、しっかり分別のつく犬に成長したのであります。

ゆず みみ こむぎの三匹は、必要以上にベタベタする訳でもなく、かといって互いを嫌う訳でもなく、絶妙な距離感を保って暮らしています。

こむぎが散歩から帰ってくると、みみは必ず玄関に出てこむぎを迎え
ます。こむぎの顔を舐めてやるのです。こむぎは、自分の体の三分の一
しかないみみが舐めやすいように、頭を下げます。

ゆずはこむぎと一緒に寝るのが大好きです。おそらく暖かいからでし
よう。ゆずは三匹の中で最も気が強く、ヒエラルキーの頂点に立ってい
ます。体は一番ちっちゃい癖にね。こむぎと一緒に寝ているゆずの機嫌
を損ねないように、ほとんど身動きせず固まっています。

みみとゆずは追いかけてこをよくします。喧嘩けんかと云うよりも、じゃれ
合いと云った感じ。一応ゆずの方が目上という事になっていますが、身
体能力はみみの方がはるかに上ですから、追いかけてこは常にみみが優
勢です。

三匹の中で閉まったドアを開ける事が出来るのはこむぎだけです。前足を使ってドアノブを器用に引いてドアを開きます。ゆずやみみは背が低く、物理的にドアノブに手が届きませんから、別の部屋に行きたい時は、にやんと鳴いて誰かがドアを開けてくれるのを待つしかありません。普通は人間が開けてあげるのですが、先日この状態を放置し静観しておりましたら、こむぎはじれったくなったのでしよう。さつとドアの所に移動し、ドアを開けてあげたではありませんか。想像するに、人間が留守の時は、こむぎが猫たちのドア係になっている模様。犬と猫の、見事な連係プレーであります。

みんな なかよく くらしています

あいはらひろゆき著「くまのがっこう（ブロンズ新社）」からのお言葉です。ゆず、みみ、こむぎには、それぞれに好きな場所が存在し、上手うま

い具合にそれらは重複しておりません。時に一緒に遊び、時にそれぞれがそれぞれのお気に入りのお場所で寛くつろぐ。彼女らはある意味、最高のルームメイト同士と呼べるかも知れませんね。今日も我が家の犬猫共は、三匹仲良くのんびりと暮らしているのでありました。

大事なルールほど

法律では決まってるんですよ

【082】伊坂幸太郎「モダンタイムス」より

自転車は車両だから車道左側を走行すべし。こうした道路交通法の大原則が最近になってようやく見直され、ロードバイクが車道を走る事が一般に認知されるようになったのは大変喜ばしい事であります。ちよつと前までは自転車は歩道を走るモノという間違つた認識をお持ちのドライバーも多く、後ろからクラクションを鳴らされ「チャリは歩道に上がれ！」と罵声を飛ばされたり、ひどい事例になりますと幅寄せをされりといった事が実際に行われていたのであります。

私は自転車のみならず、車もオートバイも運転致しますので、例えば

速度差のある（車の流れに比べて遅い）自転車が車道を走行する危なっかしさや、わざわざ車線変更してこうした自転車を抜かねばならない煩^{わずら}わしさも知っています。ですから例え自転車の車道走行が道路交通法で認められていたとしても、そもそもが自分は周りから見れば迷惑な存在である事を忘れないように、肝^{きも}に銘^{めい}ずるようになっておきたいです。走行を許されている事と、走る権利がある事とは別だからです。道路には、自転車、車、トラック、原付スクーター、オートバイが同時に存在し、それらの常用速度や加速特性はそれぞれ異なる訳ですから、ロードシェアリングの精神無くして、安全性の確保は難しいでしょう。

私は自転車で西に向かう際、甲州街道（国道20号）をよく利用しますが、東（都心方面）に向かうには、甲州街道を敢えて避けるようにしています。と云いますのも、甲州街道の立川から東側の区間は、極端に

路肩が狭いのであります。路肩がほとんど存在しないと云つても過言ではありません。更に各車線の幅も一般の道路より狭いのであります。こうした区間を自転車で走ろうとしますと、後続車に多大な迷惑を掛けてしまいます。遅い自転車を抜く為にわざわざ車線変更を強いられるのは、車やトラックにとってストレス以外の何者でもないでしょう。しかも甲州街道は交通量も多く比較的速い速度で流れていますから、車線変更には相当気を使わねばなりませんしね。

車線幅が普通にあると同時に路肩に余裕があれば、自転車の車道へのはみ出し幅を狭く維持さえすれば、自車線内で抜いて貰う事も可能でしょう。しかし甲州街道の東区間は、物理的にそれが難しいのであります。

実はこれには簡単な回避方法が存在します。甲州街道を使わずに、一本北側の東八道路とうはちを使えば良いのです。東八道路は比較的新しい道で、

車線幅も路肩も十分に取ってあります。自転車はこちらに進路をとるだけで、不要なトラブルを回避し後続車への迷惑を最少に抑える事が出来るのです。確かに甲州街道は自転車走行禁止の道路ではありません。でもだからと云って、自転車が走行する権利が優先される訳では決してないのです。特に集団走行においては、甲州街道を外したルーティングをするなど、ロードシェアリング実現の為にロードバイク側に出来る事はまだまだありそうです。

大事なルールほど、法律では決まってないのよ。

伊坂幸太郎著「モダンタイムス（講談社）」からのお言葉です。法律は明らかな犯罪行為の判断をする為の決め事ですから、法律に触れなければ何をしても良いと云う考え方からは、互いの軋轢あつれきが生まれこそすれ、建設的な解決方法は生まれようが無いでしょう。

だからこそ法律を拡大解釈して権利を主張するのではなく、互いの快
適性や安全性を実現する為の具体的な方法を模索しもさく続けて行きたいと思
うのであります。走行ルートの工夫もその一つ。だってそれこそが「大
人の行動」ってヤツじゃないっすか。いい歳こいたオッサンである我々
が大人の行動を取れないとすれば、存在価値はゼロになっちゃいますも
んねえ。

浮気は論外です

でも 本気ならば方がないと思っています

【083】東野圭吾「夜明けの街で」より

実は最近、不思議な現象が続いております。新しい黒森のロードバイク、ピンクちゃんを手に入れてから約九ヶ月。自転車に対する物欲が、鎮静化しているのでありますよ。

複数の自転車雑誌を読み漁り、次から次へと欲しい部品が現出。まさに物欲番長化していたあの頃を、妙に懐かしく思い出します。決して自転車に対する熱情が冷めてしまった訳ではありません。否、むしろ逆。

パッション

こうしん

自転車でお出掛けしたい願望は、以前よりはるかに昂進しているのでありますからね。

ワイズロードでピナレロ号を見た瞬間、まさに一目惚れ^{ひとめぼ}。一種運命的な出会いを感じたものであります。私の周りにも自転車購入の経緯をあたかも恋人との出会いや恋愛に準^{なぞら}えてお話しされる方は結構いらつしやいますから、一目惚れしたという意識は、あながち私だけが抱く感情という訳では無いでしょう。自転車との出会いは男女の出会いに酷似^{こくじ}しているのかも知れません。

当初、そのあらゆる仕様に満足していたピナレロ号であります。徐々に不満と申しますか、もうちよつとこうだったら良いのになあとという部分が鼻について参りました。当然と云えば当然です。ピナレロ号はマスコプロダクト品の完成車として販売されていた訳で、最大公約数的な仕様に落ち着く^いのは、むしろ必然と申せましょう。購入者全員が百パーセントの満足を抱く^いなど云うのが幻想に過ぎない事は、自明であります。

対してピンクちゃんは、私の為だけに設計され、私の為だけに組み立てられたフルオーダー品です。私がピンクちゃんに一目惚れしたのではなく、私の好みに従ってピンクちゃんが造られたのですから、細かい部分に対しても非の打ちどころが無い事は当然とも云えます。出会う前から惚れる事を保証されていたという訳であります。

しかも、マンガの大將くらいのプロフェッショナルになりますと、私がピンクちゃんに乗る事によって受けるであろう影響を予測し、それを加味した上で、ピンクちゃんの仕様を決定するという、いわば再帰^{さいき}処理的な仕様検討すらしかねませんからね。故に、時間が経過しても不満が全く出てこないのではありません。一見アイスが大好きなだけのオッサンに見えますが、彼の能力はハンパ無しなのであります。

浮気は論外です。でも、本気なら仕方がないと思います。

東野圭吾著「夜明けの街で（角川書店）」からのお言葉です。どこへ行くにもピンクちゃんと一緒に。ここまで入れ込む姿を見れば、ピナレロ号もきつと気持ちよく諦めてくれるでしょう。現在、ピナレロ号はローラー台専用車として、悪天候時のお供となつて働いておられます。イタリアの宝石とまで呼ばれるピナレロ号を家の中だけで使う事に対する是非はともかくとして、ある意味、きちんと棲み分けがなされている訳でありまして、これはこれで正しい「複数台所有」の形かも知れませんがね。

それにしても購入後一年近く経つても物欲が励起されない程きつちり仕様を決定してくるあたり、マングローブバイクスの大将の能力たるや恐ろしい程でありますよ、いやマジで。

今日という日しているのはうれしい

今日であるのは嬉しい

だが、ようやく今日になってというのが

おれは悲しい

【084】カズオ・イシグロ「わたしを離さないで」より

休

みの日ともなればピンクちゃんでお出掛けし、自転車ライフを満喫

しております。幸い、私の住む日野は東京の西部に位置しております故、ゆえ

ちよつと走ればすぐに里山さとやまの自然に触れるのであります。日野つて

東京とは思えないほどの田舎なんですよ。自転車乗りにとってはまさに

パラダイスとも呼べる環境。ピンクちゃんに跨またがり様々な場所に出掛ける

と、その度に新たな発見があります。レース指向でビュンビュン走る訳

では無いとは云え、それなりの速度で走る事で体には適度な負荷が掛かります。登りともなればすぐに汗だく。しかしこの辛さが又楽しいのでありますよ。

健康的な、このロードバイクという趣味に出会えて本当に良かった。自転車に乗る前は運動不足ここに極まれりという生活をしておりました。典型的なメタボリックシンドローム。代謝が悪く、太っている癖に冷え性でしたしね。体重も今に比べればかなりありました。自転車に乗りはじめたこうした状態は一挙に解決。URIBOZの仲間とも出会えて、まさに最高なのであります。

四十歳を過ぎて初めてロードバイクに出会ったのでありますが、実はもつと早い時期に自転車に触れあう機会は存在したのであります。大学時代に共同で部屋を借りていた同級生の前田君は、実は自転車部に所属

していたのであります。あ、もしかしたらサイクリング部かも知れませんがね。正確な名称は思い出せません。何しろあの頃私は自転車には全くと云って良いほど興味がありませんでしたからなあ。

前田君はビアンキ号と共に、ホンダのCBXというオートバイも所有しておりました。彼とはオートバイでしょっちゅう一緒に出掛けたものであります。しかし自転車に関する接点は、ついぞ無かったのであります。今になってこんな事を申し上げても仕方がありませんが、学生時代にロードバイクに触れていれば、もしかしたら、もうちよつと違う人生を歩んでいたかも知れませんね。

今こうしているのはうれしい、こうできるのは嬉しい、だが、ようやく今になってというのが、おれは悲しい

カズオ・イシグロ著「わたしを離さないで（早川書房）」からのお言葉です。欲を言えばキリがないのはわかっています。しかし私の出身校は信州大学。あの頃、長野の美しい自然の中をサイクリングする機会がいくらでもあったのと思うと、やはり残念で仕方がないのであります。

ひとりぼっちといふことは

こんな時たいへんつまらないと思ひます

【085】新美南吉「牛をつないだ樁の木」より

先

日のお話です。自転車おわたるみで藤野方面にお出掛けした際の帰路、甲州街

道（国道20号）大垂水峠を相模湖側から高尾方面に向けて、えつちら

おつちら登っておりますと、あれれ、路肩のガードレールにお猿さんが

座っているじゃありませんか！かなりの至近距離です。あわわわ、カメ

ラカメラ！ 写真を撮ろうとしてジャージのバックポケットから携帯

を取り出そうとしました。早く早く！ 早くしないとお猿さんが逃げ

ちやうよく！ ところが焦れば焦るほどカメラがポケットに引つ掛かつ

て中々取り出せないのです。

焦あせりまくる私を尻お目に、お猿ゆうゆうさんは悠々とガードレールの上を四つんよ
 ば這いで進んでいきます。折角あのシャッターチャンスだというのにお猿あさ
 んが行っちゃうよ。と、嗚呼あ、何たる！ 野生のお猿さんともあろう
 者が、前足を滑らせ、ガードレールに顎あごをゴンと打ちつけたではありません
 せんか！ わははははははははは。顎あごを打った瞬間、確かに「ぐっ」とい
 う声を出しましたぜ。まさに「猿も木から落ちる」であります。しかし、
 ちくしお。こういう時に限って写真も撮れていないし、一緒に笑う仲間
 もいないなんて！ この滅茶苦茶面白めちやくちやい光景を誰かに見せたいよう！
 ひとりぼつちといふことは、こんな時たいへんつまらないと思ひます
 新美南吉著「牛をつないだ椿の木（角川書店）」の中の「カブト虫」
 という短編の中のお言葉です。それにしても面白ビデオってテレビでよ
 くやってますけど、実際に撮るのは至難でありますなあ。カメラを素早

く取り出す練習でもしてみようかなあ。

気楽に行ってみよう

結局 なるようにいなるんだから

【086】万城目学「鴨川ホルモー」より



よいよ今週末はマウント富士ヒルクライムであります。富士スバルラインを富士山五合目に向けて、ただひたすら自転車で登るだけのマゾヒステイックなレース。距離二十五キロ、標高差一二七〇メートル。実は私、一昨年にもこのレースに参戦しております、その時は自分としてはまあまあ満足出来るタイムで登れたのであります。

ところがあれから丸二年。ふせつせい不摂生な生活が祟り、たお腹周りを中心に、なかだゝいぶポツチャリ増量してしまいました。先日の試走でも結果はメタメタ。五月二十六日（土）なんてスバルラインを二往復したってえのに

タイムはいまいち。弱ったなあ。大丈夫かなあ。この大会、一時間三十分を切ったら一人前のサイクリストと云われていますが、このままだとへたすりや一時間五十分すら切れそうもない勢い。ちよつとアクションでもありやすく二時間オーバーになつちやいそう。ま、加齢による体力低下はある程度仕方がないとは云え、二時間台はちよつとねえ。自分でエントリしておきながら何云ってんだと擲^や揄^ゆされそうですが、かなりマズイ状況である事は間違いありません。

一番避けたいのが失速であります。特にヒルクライムの場合、途中で体力使い果たすと、ガクつと極端にペースが落ちてしまう傾向が強いのです。自転車を漕ぐ行為は回転運動が基本でありますが、それはある程度のペースを保っているという前提でのお話。スムーズな回転を維持出来ないペースまで落ちると、結局、非効率なピストン運動をギクシヤク

と繰り返す事になり、なけなしの体力を浪費して級数的にペースがドロップしてしまうのです。フラフラ蛇行しながら後続車に迷惑を掛けつつ登るのは、格好悪いし嫌だなあ。しかし試走の具合から考えますと、失速の確率は限りなく高い事を覚悟せにやなりません。恥をかく位なら棄権しちゃおうかな。レースは目前に迫っているというのに、弱気の虫が頭をもたげます。

気楽に行っておいで。結局、なるようになるんだから。

万城目学著「鴨川ホルモー（角川文庫）」からのお言葉です。こういうりや開き直るしかありません。あまりクヨクヨと考えないようにして、とりあえず無心で漕いでみる事にします。不摂生や体力の低下は、今更解決出来るような事ではないですね。それにしても今年は完全な準備不足。来年こそはもっと早めに調整に入ろうと心に決めたのでありまし

た。
あれれ？弱気なクセに、なんか来年も出る気になってるし。

今日と明日は全然違う

明日っていうのは 今日の続きじゃないんだ

【087】森絵都「カラフル」より

携帯電話のアラームを止めて布団の中で小さく伸びをします。カーテンの隙間からは朝日が射し込んでいて、今日も良い天気のようにです。時刻は朝の六時半。一緒の布団で寝ていた犬のこむぎに、「こむ、散歩行くか」と声を掛けますと、グツスリ寝ていた筈のこむぎは一瞬で飛び起き、尻尾をちぎれんばかりに振りながら、嬉しさのあまり布団の周りを走り回ります。

のそのそとジャージに着替える私を急かす^せように、まとわりつくこむぎ。毎朝の光景です。別に特別楽しいところに出掛ける訳ではありません

ん。朝の散歩は四十五分、一時間、ルートはその日によって異なりますが、多摩動物公園の裏山や明星大学の裏山に散歩に行くだけなのであります。昨日も一昨日もその前の日も散歩に行ったじゃん。なんで毎回、そんなに嬉しいんだよ。

今日と明日は全然違う。明日っていうのは今日の続きじゃないんだ。

森絵都著「カラフル（理論社）」からのお言葉です。そうなんです。

我々人間は、どうしても惰性だせいで過ごしてしまいがち。でも本当はそれではいけないのです。ただの一日として同じ日などと云うものは存在せず、故に今日もまた、新たな一日を経験出来る事を感謝しつつ過ごすべきなのであります。こむぎの純粹な喜び様を見て、こうした根本的な事に、改めて気付かされました。

散歩から帰ったら腹一杯ご飯を食べて、ちよつと猫どもと遊んだ後、こむ毛布の上でお昼寝するのが、毎朝のこむぎのルーティン。仕事をしないで済むって羨ましいねえ。^{うらや}もし次に生まれ変われるとしたら、こむぎに生まれ変わるのも悪くねえなと思ったのでありました。

徹夜はするな 睡眠不足はいい仕事の敵だ

それに 美容にも良くねえ

【088】宮崎駿監督作品「紅の豚」より

勤

免神話とでも申しましょうか、努力する事が美徳であるという考え

は、我々の周りに意外に根強く残っています。勿論それはそれで間違いないでは無いんですけれども、努力したから結果が伴わなくても許されるかと云えば、そんな事がある筈がありません。ところが最近、そんな輩やから

が増えているんですなあ。中には主客転倒はなはだしく「昨夜は徹夜で頑張ったんですよ。そこまでやったにも関わらず間に合わなかったんですから、勘弁して下さいよ」なんていう発言を聞く事すらある位。これって実は学校での間違った教育にその根源があるように思えてならない

のであります。

「結果として上手くいかなかったが、君が努力した事は理解している。頑張ったからエラいぞ」。こうした、「姿勢に対する賛辞」は、無理にでも成功体験を積み重ねさせ、自信をつけさせるべき幼少期には有効でしょうが、高校生や大学生に対して行なうべきではないというのが、私の考えです。「頑張ったかどうか」という価値観ではなく「いい仕事をしたかどうか」という価値観で行動するように若い人たちを誘導していくのは、指導者の重要な役目でありましょう。

高校生や大学生は、もっと大人であるべきだと思います。結果を出す事に最大限の関心を払い、そこに向けて労力や知恵を結集する事が正しいアプローチである事を理解させる。そしてそうした前提の中で、努力する事は有効な手段ではあるが決して目的ではないのだ、という事を認

識させる。こうした真の教育が、高校や大学においてもつとなされても良いと思うのです。使えないヤツほど「そんな事聞いてません」と言い訳する傾向が強い。それじゃ教わった事は全て出来るのかといったら、とんでもない。結局のところ彼らは出来ない事の言い訳のネタを探しているだけなんですな。要は、若い衆のお子ちやま的傾向が強いって事。

徹夜はするな。睡眠不足はいい仕事の敵だ。それに、美容にも良くねえ。

宮崎駿監督作品「紅の豚」の中でのポルコロツソのお言葉です。かつてはこうした「いい仕事」を意識する、一種、職人的なマインドって、日本の職場じゃ当たり前だったように思います。職人氣質を嫌う傾向が若い衆に蔓延まんえんすると時を同じくして、日本の隆盛りゆうせいに陰りかげが見え始めたのは偶然ではありませんまい。「僕は誉めほられて伸びるタイプです」だとう。

ふざけてんなよ、
てやんでい！

聞いてない 誰もとこまで 聞いてない

【089】学研パブリッシング刊「オタク川柳」より



のお話で触れておりますプリーとは、自転車の後輪の変速機で使われている直径三センチ位の歯車の事でありますよ。

あ、お客様。プリーをお探しですか。コンポは何をお使いで。ふむむシマノでいらっしやる。105ですか。え。アルテグラ。グロツシ
ーグレーのヤツと。これはおみそれしました。電動ではないんですね。
はは。いえ別に。電動が全てという訳ではありませんからね。嫌味とい
う訳では御座いませんよ。で今日はどのような。はあ。プリーが^{まも}磨耗。
樹脂製部品ですからね。シマノのスモールパーツはこちらになります。
でもですね。しかしですね。あのお客様。ちよつとだけ、お時間大丈夫

でしょうか。はい。と言いますのも。プリーは非常に重要な部品で御座いまして。ええ。グレードによって大きな差があるのですよ。摩擦抵抗を考えますとですね。105は論外で。え。まあ論外は言い過ぎとしましても。でもでもでもお客様。105はガイドプリーもテンションプリーもブッシュ式で。はい。ベアリングではなく。ええ。ですから抵抗が。それはもう信じられないくらい。ですからお客様。え。アルテグラの。今のと全く同じ型番をご所望。うわわわん、聞いて聞いてよお客様。実は実は。アルテはベアリングは片方だけで。もう片方はブッシュ式という中途半端な。是非ともここは思い切ってデュラエースのプリーを。はいはいはいはい。勿論ガイドプリーもテンションプリーもベアリング式。クルクル回るぞデュラデュデュ。ぐふふここだけのお話ですがね、お客様。アルミのプリーはいかがでしょう。K CNCのこのアルマイトの輝きと言ったら！ プリーボルト

も是非ご一緒に。こういう細かいところに差し色を使うのがオシヤレな
んですってば。おおおおお。お客様、お目が高い。TNIのセラミツ
クカーボンプリーで御座いますか。うひうひうひ。目立ちますバツチ
リ目立ちます。たかがプリーされどプリー。分かる人には一目で分
かります。百メートル先からでも。ホントですってば。大袈裟で云って
るんじやありません。百メートル先のプリーを見分けるのが本物のオ
タクというもの。だからだからだから。ね、ね、ねねね、ね。買いまし
よう買いましたよう。プリーを買いましたよう。私ならそうですねえ。私
ならどれにするかな。やっぱKCN Cかな。でもデュラの変速性能はピ
カイチだし。うむむ。悩みますよねお客様。アルマイトの輝きかな。そ
だよねやっぱ目立つしね。もしも、もしも私が選。

聞いてない 誰もそこまで 聞いてない

オタク川柳（学研パブリッシング刊）からのお言葉です。自転車でも何でも、オタクと呼ばれる方はたくさんいらつしやいまして、お気持ちのは分かるんですが語り始めたらどうにもこうにも止まらないのでありました。自分もこういう風にならないように気をつけなきやね。

あ、分かつちやいると思いますが、このお話はフィクションでありますよ。こんな店員、実際にいる訳ないじゃあゝりませんか（笑）。ま、居たら居たで、意気投合してしまいそうな予感が致しますが・・・。

素敵び不モだ

【090】三浦しをん「君はポラリス」より

自 転車趣味は、勿論、乗って楽しい、出掛けて楽しいのでありますが、

雨の日だつて楽しいのであります。そう、自転車の整備のお話です。

雨の日に乗ればドロドロに汚れるのは当然ですが、晴れの日でも結構

汚れは付くもの。自転車の汚れは主に砂埃等がオイルに付くものと、自

すなほこり

分のかいた汗に由来するものに大別されます。いずれにしろ埃や塩分は

ほこり

腐食の原因となり得ますから、きちんと掃除してあげる事が整備の第一

歩なのでありますよ。余分な汚れたオイルを灯油やパーツクリーナーで落

とし、きちんと注油する。塗装面にワックスを掛ける。たったこれだけ

の事ですが、こうした作業を経る事で、気付きにくい軽微な故障も早い

段階で発見しやすくなるのです。

私の場合、もっとも汚れやすいチェーンとスプロケットは二セットで運用しています。ですからいつもチェーン周りはピカピカ。私は坂道ですぐに抜かされてしまうヘタレたオッサンではありますが、チェーンの綺麗さではその辺の方には絶対に負けない自信が御座います。

うつつすらと油膜の引けたゴールドに輝くKMCの窒化チタンコートチェーン。美しい。ここまで綺麗だと、ペろんと舐めてみたくなる程であります。チェーンのコマとコマの隙間まで綺麗にする為に、ブラウンの電動歯ブラシまで用意しちゃってるんですからね。

素敵な不毛だ。

三浦しをん著「君はポラリス（新潮社）」からのお言葉です。ちよっ

と変態けつべきっぽい潔癖さではありますが、ピンクちゃんが綺麗だとお出掛けも楽しくなろうというもの。ま、ここまで綺麗にしても、走り出せばすぐに汚れちゃうんですけどね。という訳で、相も変わらず雨の日はシコシコとチェーンを磨く私なのであります。

道に迷ったなら 情熱の傾く方向に進む

【091】安武信吾「はなちゃんのみそ汁」より

私

くらのオサーンになりますと、自分の意志だけで物事を決める場面は著しく減って参ります。それはそうでしょう。自分がこうしたいと思つても女房がそれに賛成してくれるとは限りませんしね。子供たちも既に高校生になり、それぞれにそれなりの自我じがを持っていますから、全ての事象において私の意志を押しつける事など出来よう筈がありません。例えば「今夜はうどんが食べたいな」と私が思つても、勝手にそれを押し通す事は出来ず、少なからず家族の同意が必要という訳であります。ま、当たり前か。

だからといって、全ての物事を家族全員の合議ごうぎで決めようと考えてい

る訳では決してありません。ある程度は合議的手法を取り入れるとして、最終的な結論は家長である私一人の責任において決めるようにしています。実はその際に最も重要視するファクタは、私の場合、私自身がパッションを感じられるかどうかであつたり致します。

道に迷つたら情熱の傾く方向に進む。

安武信吾著「はなちゃんのみそ汁」（文藝春秋）の中のお言葉です。

様々な決定には一見それらしい理由がつく事がほとんど。しかし、あえて乱暴に突き詰めれば、人は情熱を感じる事にしか傾倒出来ないのであ

りますよ。このような信念に基づき「俺がそう決めたからそうなのだ」という態度に出る事がたまゝにあります。少なからずリーダーにはそういう

側面が必要であるとも考えています。独裁どくさい的な要素が強過ぎるのはど

うかと思いますが、独裁どくさいゼロけんいんりよくで牽引力を發揮する事は不可能だとも思う

のです。勿論、これらはバランスの問題でもある訳ですが。

ま、こういう私を、家族は「偏屈へんくつじじい親父」と呼ぶのですがね。ふふ。何
とでも言いやがれ。

それは嘘だ

【092】有川浩「塩の街」より

ロードバイクのタイヤは、クリンチャーと呼ばれる方式が主流であります。いわゆる、タイヤの耳をリムに引っ掛けて内側からチューブで膨らますタイプのモノ。WOとかHEとか、厳密には仕様によって構造が微妙に異なるのですが、ま、細かい事は気にしないでおきましょう。私の所有するピンクちゃんのタイヤもクリンチャータイプ（WO）の700C23であります。

このタイプのタイヤはパンク修理が容易なのが特徴。チューブを交換するだけでパンク修理は完了します。予備チューブは小さくためばシートバッグに楽々入りますから、全然邪魔じゃまになりません。私は、念には

念を入れて、予備チューブを常に三つ携帯しています。実際には三つとも使い切った事など一度も無いのですがね。一般的には、予備チューブは二つ持っていれば十分、と云われているようです。

ロードバイク完成車の九十九パーセントに搭載されていると云われるクリンチャータイヤに対し、チューブラータイヤと呼ばれる製品が存在します。クリンチャータイヤは開放型と申しますか、タイヤ自身が空気を保持出来る構造ではありません。チューブが必要な訳です。対してチューブラータイヤはあたかも浮き輪のような形状になっており、タイヤ自身が空気を保持出来る構造になっています。乱暴な表現をすれば、チューブラータイヤとは、非常に丈夫に補強されたチューブを接着剤または両面テープでホイールに貼って、それで道路を走っちまおうという、割とシンプルな考えのタイヤなのであります。

クリンチャータイヤが複雑な断面形状であるのに対し、チューブラータイヤは完全な円形断面。接着剤でホイールに保持するという特殊性はありますが、構造力学的に見ればチューブラータイヤの方がロスが少なく、強靱きょうじんな造りになっている事は明白です。しかも空気圧が低くてもパシクしにくいという特性を活かして、比較的低い空気圧で乗る事が可能ですから、乗り心地も、しなやかでラゲジュアリーって訳。

雑誌等では、チューブラーのしなやかな乗り味が絶賛されており、旅情派の私としましては、ちよつとは気を引かれるのも事実であります。構造上、カーボンホイールが作りやすいので、完組ホイールには非常に軽量なモデルも多く、レースシーンにおいてもアドバンテージがあります。うです。

しかしチューブラーには専用のホイールが必要で、現在使用している

クリンチャー用のホイールは使えなかったり、パンク対応の為にタイヤ本体を持ち歩かねばならず、面倒であったりといったデメリットも歴然と存在します。ですから、私の場合、欲しくて欲しくて堪らないという程の事でもないので。そもそも私は物欲志向に欠ける男でありまして、ギミックに対して淡泊と申しますか、好奇心があまり旺盛わうせいでないと申しますか、ま、チューブラーにそれ程惹ひかれている訳じゃないのです。ちよつと考えてみて下さいよ。もうすぐ四十七歳になろうっていう良い歳こいたオッサンが、まるで小学生じゃあるまいし、次から次へと欲しいモノが現出して悩ましい、なんて事がある筈はず無いじゃないですか。

それは嘘だ。

有川浩著「塩の街（角川文庫）」からのお言葉です。はい。正直に告白致しましょう。先日、URIBOZのリロウィンさんがチューブラー

ホイールを購入し、それを見て、羨ましくて羨ましくて仕方がないのでありました。私のような貧脚な者に、このような高価で高機能なアイテムは不要なのは分かってるんですがね。欲しいよう、欲しいよう。チューブラー仕様のカーボンホイールが欲しいよう々！

嗚呼、「カーボンは軽過ぎてふらついて嫌だ」とか「チューブラーはパンク修理が面倒でねえ」とか、ほざいてみたいのですが、かみさんの稟議が下りそうにありません。物欲の嵐にもて遊ばれ、悶々とした日々を過ごす私なのであります。

こんな夜中に珈琲は駄目

お酒にしないと体に悪いわ

【093】柳美里「ルージユ」より

世は健康ブーム真まつ直中ただなかと云われています。数年前までは比較的珍しかったロードバイクでの通勤も、最近では至つて普通の光景となりました。その事自体は良いのですが、この「健康ブーム」という言葉に違和感を覚えるのは私だけではありませんまい。

自転車に乗らない方ほど、「自転車は健康に良い」と信ずる傾向が強いように思います。ロードバイク乗りの方にはお分かり頂けると思いますが、ほとんどのロードイは、実際には、健康の為なんて目的なんぞあまり意識しておりません。単に自転車に乗るのが楽しいから乗ってい

るのに過ぎないのであります。逆に健康増進を第一の目的として自転車に乗っている方は、自転車趣味自身があまり長続きせず、いつの間にか乗らなくなつちやう傾向が強いようにも思います。

確かに自転車に乗るようになる体重は減り、安静時心拍数も落ちて参ります。肝機能数値の改善が見られる方もいらつしやるでしょう。しかしそれは単なる結果に過ぎないのであって、決して健康になる事を目的として自転車に出掛けている訳ではありません。想像するに、健康ブームと云う言葉は、自転車に乗らない方が言い出したモノなのではないでしょうか。

そもそもロードバイクに乗る行為は、健康に良い事ばかりではありません。例えば、都下のサイクリストに鬼の和田としてリスぺクトされている和田峠。このガツンとパンチの効いた激坂げきざかを登りきつた際の達成感

は格別であります。この達成感を味わいたくて、和田にアタックしてしまうのですが、私のような貧脚ひんきやくのへニヨピリンでは、登坂速度は時速一桁台。ペダルをクルクル回すなんて程遠く、ほとんどヒンズースクワツト状態となります。登板中は心拍数が180bpm台から落ちてきません。これは間違いなく体に悪い。サングラスが曇る位の滝の汗をかきながら、エツチラオツチラ激坂を登る行為は、健康とは対極をなす不健康な我慢大会と呼んで差し支えないでしょう。和田峠を登る度、己おのれの寿命が縮んでいくのを感じる程であります。

誤解を恐れず言えば、多くの坂好きのサイクリストはマゾヒストに相違ありません。寿命が縮む程の坂に好んで出掛けるのは、巷ちまたで云われる「健康ブーム」のまさに逆を行く行為。自転車にのめり込めばのめり込む程、結果として身体へのインパクトは増加し、不健康になっていきま

す。自転車は健康に良いという神話は、ある運動強度範囲を超えないという前提でのお話なのであります。

巷にはこうした自転車についての健康説・不健康説が交錯こうさくし、何が正しくて何が間違っているかが、より不明瞭になりつつあると申せましよう。

こんな夜中に珈琲は駄目。お酒にしないと体に悪いわ。

柳美里著「ルージュ」（角川文庫）からのお言葉です。「本当かよ」

と思いつつも「そうかも知れない」と妙に納得する部分もある。健康ブームにまつわる意見には、かなり眉唾まゆつばな説も含まれているように思

ます。実際には健康だろうと不健康だろうと、私にはあまり関係のない事なんですがね。趣味趣向に目的を求めるのが、そもそも間違いないので

歳取ると 悩んでる時間がなくなるよ

【094】矢崎存美 「ぶたぶたカフェ」より

仕事が忙しくて中々自転車を出掛ける時間が取れない時は、「時間さえあればサイクリングに行けるのになあ」と考えるのですが、いざ時間が出ると、意外に出掛けるのが億劫おっくうになったり致します。特に私の場合その傾向が強く、いやはや困ったものであります。

第一関門は早起き。百キロ、百六十キロの中長距離サイクリングは、早朝出発が基本となります。例えば平均時速二十キロで進むとして、百六十キロなら最低八時間は掛かりますからね。私の仕事は夜が遅いので、その分、朝は苦手なのでありますよ。朝寝坊すると一気にお出掛けモチベーションは下がってしまいます。

第二関門は運動不足。自転車は有酸素運動ですから、日常的に乗ってさえいればダイエット効果は抜群です。しかしその代わりちよつと乗らない期間が続いただけで、テキメンに太って参ります。本当に体って正直。太ると体が重く感じ、運動する気が失せてくるという訳です。

第三関門は天候。百六十キロ程度のサイクリングでは、自宅の周りは晴れているのに目的地付近は雨という状況は、特に珍しい事ではありません。複数地域の天気予報を調べて、それらが全て晴れの予報でないと、急速に出掛ける気は萎しぼんで参ります。雨は仕方ないとしても、暑いから、寒いから、風が吹いているから等の条件を組み込み始めたら、はつきり言つて收拾がつかなくなつてきます。

どうしようかなあ。出掛けようかなあ。天気は良さそうだけどちよつと寝坊しちゃったしなあ。この時間からだあまり遠くには行けねえよ

なあ。気温も高そうだしなあ。こういう日は夕立が降るんだよなあ。どうしようかなあ。こうして悩んだ末、結局出発はズルズルと遅れ、高尾山までの往復五十キロで終わりにしちゃうパターンに落ち着く事は、私の場合よくある話であります。待望の休みだというのに、高尾山へのシヨートサイクリングだけじゃ、ちよつと寂しい。分かっちゃいるんですが、出掛けに悩んでしまうんですよねえ。意志が弱いんだよなあ。

歳取ると、悩んでる時間がなくなるよ。

矢崎存美著「ぶたぶたカフェ」（光文社）のお言葉です。そうなんです。乗れる時にどんどん乗らなきゃ。私ももうすぐ四十七歳。無限に自転車に乗り続けられる訳ではありませんしね。そうするつてえと自転車イベントつて本当に素晴らしい。半強制的に早朝から活動する事になりますからね。怠惰たいだな私の場合、こうした強制力がなければ、まとまった

距離のサイクリングには中々出掛けられません。という訳で今年もグラ
ンフオンドハケ岳にエントリーしましたよ。最近乗れていないんで、ハ
ケ岳を百二十キロも走ったらメタメタになっちゃいそうですけど、ま、
トコトコと頑張って参りまゝす。

とりもえず黙るが 喋らぶにが どちらがにしまくれ

【095】夏川草介「神様のカルテ3」より

お盆休みの土曜日、ピンクちゃん（ロードバイク）を車に積み込んで、富士五湖周遊サイクリングにお出掛けした時のお話です。道の駅鳴沢に到着したのが朝の「時過ぎ」。勿論こんな早い時間では道の駅の売店は開いておらず、駐車場も空いています。とはいえ既に二割程度は車が停まっている状態。最近、団塊の世代夫婦が車中泊でお出掛けするのが流行っているのだそうで、六十代、七十代と覚しき方々が、トイレで歯磨きしたり、車の脇で体操したりしております。

この日は夕方から雨の予報。早めの時間に富士五湖周遊サイクリングを済ませ、雨が降る前に温泉で汗を流そうという計画であります。夕方

からは沼津ぬまつで高校の同窓会ですから、二時頃までには道の駅に戻ってきたいところ。

自転車しやちゆうはくを車から降ろし、外しておいた前輪を組んでおりますと、熟年車中泊組と覚しきオバサマが話しかけてきました。自転車に乗っておりますと道の駅などで喋り掛けられる事は割と多いのでありますよ。ところがこの日のオバサマの喋りと云ったら、さしずめ機関銃の様。

あらまあ可愛いピンク色の自転車ね私の息子も若い頃はよく自転車で出掛けたものだわ息子が学生時代のお話よ飯盒はんごうや鍋釜なべかま一式を山のように積んで遠くまで出掛けていったのよ私は今日は自転車じゃないわよお父さんと一緒に車で来たの昨日は箱根の道の駅に泊まったわうん車中泊息子は今じゃ全く自転車なんて乗らなくなつて自転車どころか太つちやつて太つちやつてあれじゃ離婚されても文句言えないわね運動しないでタバ

コばかり吸ってこのままじゃ成人病一直線よそれにしても偉いわねちやんと運動してるんですものお父さんお父さんこの方自転車で富士五湖巡りするんだって凄いわねえこんな細いタイヤで怖くないのかしらお父さんほらこのピンクの自転車きつと高価たかいわよそうね百万円位するんじゃないかしらそんなにはしないにしても高価たかい事にはかわりはないわ私も自転車に乗るけれど電動なのよ電動は楽だわ電動自転車乗ってみなさいよこのピンクのより断然楽よでもそれじゃ運動にならないわよねそれにしても綺麗なピンク色ねお父さ〜んお父さ〜んこれから出掛けるんですって富士五湖巡りよ凄いわねえ貴方どこから来たのあそう日野から私は浜松なのお父さんが退職したんでハイエース買って後ろに布団を敷いて車で寝泊まりしながらここまで来たの三泊四日の予定なの今日は諏訪まで行こうって云ってるんだけど諏訪って知ってるそうよね知ってるわよねスゴ〜イ遠いとこなのお父さ〜んお父さ〜ん諏訪ってここからの位

かしらねえお父さ。

とりあえず黙るか、喋らないか、どちらかにしてくれ。

夏川草介著「神様のカルテ3」（小学館）からのお言葉です。オバサマの機関銃の様な喋りに耐えながら二人きりで三泊四日のドライブ旅行をしている「お父さん」に心から同情申し上げます。それにしても連日このスゲゝ攻撃をいなしているとすれば、超絶的な忍耐力であります。定年も楽じゃありませんなあ。

負けだじゃないよ ちゃんと勝ちだだよ

.....どっちにしろだかよ

【096】「あの口見た花の名前を僕たちはまだ知らない」より

幼

少の頃、「横断歩道の白い部分を踏むと落ちて死ぬ」と勝手に決めて、それを避けながら登校したものであります。今考えますと、結構真剣にやとりしました。今でもああいう遊びつて残っているんですかねえ。現代の子供らはゲームばかりで、こんな事などしないのかも知れませんが。

いいオサーンになったというのに、こうして勝手に自分にノルマを課す遊びから抜けきれない自分が居たりします。否、私のみならず、私と同年代の方はそういう傾向が強いんじゃないかしらん。家から川崎大師

までのサイクリングで、途中足を着かないで行くとか、やっている事はガキの頃のまま。四十年間全く進歩が無いのでありました。

おわたるみ

先日、大垂水峠おわたるみを越えて宮ヶ瀬にサイクリングに出掛けました。日頃の運動不足もあり、高尾からの登りで既にやられ気味。大垂水峠手前の東寒葉橋付近をヨタヨタと時速一桁キロで登っていきます。滝のような汗。暑い暑い。でもこの日、私は密かに心に決めていたのでありました。

「宮ヶ瀬までは絶対に足を着かない」と。

それにしても暑い。相模湖から三ヶ木まではかなりアップダウンがあります。暑いよう。アイス食べたいよう。でも我慢々々。宮ヶ瀬まで行って、美味しいかき氷を食べるのです。それまではコンビニにも自販機にも寄らない。何しろ今日は、足を着かないと決めたのですから。

三ヶ木のサークルKに寄りたくなるのを何とか我慢し、青山交差点から道志街道に入ります。それにしても暑い。ジリジリと直射日光が照りつけます。ヤマザキデイリー横から国道413号を離れ、県道64号で鳥屋を目指します。ローリング族除けのセンターポールの敷設されたつづら折りの道をトコトコと登っていきます。心拍180。こんなところで180なんて、運動不足極まりりとはこの事でありましょう。ああ、足を着いちやおうかな。弱気が頭をもたげます。

あ。メールの着信音です。きつい登りの左へアピンを登っているというのにメールが来てしまいました。目的地の宮ヶ瀬まではあと数キロメートル。メールなんか宮ヶ瀬に着いてから確認すれば良いのです。足を着いたら負けなのです。いやいや重要な急ぎの仕事関連のメールだったらどうするんだ。足を着いたら負けなんてチャイルデイッシュな遊びは

いい加減にして、メールを確認しなきや。

かっとう

葛藤です。オサーンの葛藤です。足を着かないと決めたのに、自分で決めた決まりを反故ほごにするとは何事ぞ。いやいや冗談じゃない。仕事のメールだったらどうするんだよ。ちよつと待てよ、今日は休日だぜ。急ぎの仕事のメールなんて来ないだろ。男の意地を賭けて、グルグルと様々な思いが駆け巡ります。

ああメータを見れば心拍はいよいよ188bpmではありませんか。これはマズい。ここまでの負荷は体に悪いよ。仕方がないよ。負けたんじゃないよ。気温も三十六度を越えてるし。最近寝不足気味だし。そもそも心拍ヤバイよ。それにメールが届いているじゃないか。やつぱり仕事が第一だよ。ね。ねね。ねねねね。足着いちゃおうぜ。負けじゃない。いつて。緊急避難きんきゆうひなんだ。そう。これは緊急避難であつて、断じて負けた訳

じゃないんだ。

足を着きたい欲求を何とか我慢し、一番斜度がきつい部分を抜けました。鳥屋の部落を過ぎ、トコトコヨタヨタと宮ヶ瀬に向かいます。凄いぞ俺。よく頑張った！よく諦めなかった！危うく負け犬になるところだったぜ。

負け犬じゃないよ、ちゃんと勝ち犬だよ。

・・・どっちにしろ犬かよ。

超平和バスターズ原作 長井龍雪監督アニメーション作品「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」からのお言葉です。確かに足は着きませんでした。しかしそれが何だというのでしょうか。単に宮ヶ瀬にサイクリングに来ただけで、けきさか激坂でも何でも無い区間なのです。そもそもこん

なところで心拍が188bpmになってしまうこと事態が情けないので
あります。嗚呼ああ九月はたくさんサイクリングに出掛けて、ダイエツトに
励まなければ・・・。十月頭に出場予定のグランフオンドハケ岳がとて
も心配であります。大丈夫かな、俺。

力量を感じさせる者に

陰口で対抗するのは愚衆の習いだが

それにして罵詈雑言の浴びせ放題

発叩きの感がある

【097】夏坂健「フオー」より

皆様、ランス・アームストロングという自転車競技の選手をご存じで

しょうか。1996年に睾丸癌かかに罹りその時点での生存確率五十パーセ

ントと宣告されながらも、化学療法による副作用に耐え抜き癌から生還。

しかもそれだけでなく競技生活にまで復帰し、1999年にはツールド

フランスで総合優勝を飾り、そのまま何と2005年まで前人未踏のツ

ールドフランス七連覇を果たした、まさにスーパーマンであります。軽

いギアを高ケイデンスで回すという今では当たり前前の走法も、当時の重
いギアをゆっくり踏むというセオリーに反して彼が採用したものであり
ます。彼が居なかつたら、現在のコンパクトクランクの全盛は無かつた
かも知れません。

彼の闘病に関する話は、彼の著作「ただマイヨジョーヌのためでなく
(講談社)」に詳しいのですが、常人には真似の出来ない、壮絶な戦い
であつた事が分かります。抗癌剤プレオマイシンの持つ心肺機能を低下
させる副作用は、自転車競技者にとって致命的であると判断し、より過
酷な治療を余儀なくされる他の抗癌剤の使用を、敢^あえて希望したとい
います。生きるか死ぬかという状況の中にありながら、競技生活への復帰
を目指し続けるポジティブさと、その強^{きょうじん}靱な精神力は、完全に人間離れ
したものであると云えましょう。

競技復帰後、ナイキの協力を得てLIVE STRONGプロジェクトを立ち上げ、癌患者を支援する社会活動も展開しています。癌を克服するだけでなく競技に完全復帰しツールドフランス七連覇。その上社会貢献活動にも従事するという、スーパーヒーローを待っていたのは、本来あるべき賞賛の嵐ではなく、なんと、事もあるうか彼自身のドーピングに対する疑惑でありました。

事の発端は元チームメートのタイラー・ハミルトンとフロイド・ランデイスによる告発でした。この告発を受け、米国連邦捜査局（FBI）が捜査に乗り出しました。

ランスは競技期間中に五百回以上も全選手向け試合前後の一般ドーピング検査を受けたが陽性反応が出た事は一度もない事。それ以外にも二十四回の抜き打ち検査が行われたが全て陰性だった事。ランスのドーピ

ング疑惑は具体的な証拠に基づいたものではなく、全てが他競技者からの告発であった事。そもそも告発者のハミルトンとランデイス自身が明白なドーピング違反者であり、しかも二人とも他者の違反を告発する事で自らの刑を減じられるいわゆる司法取引を全米反ドーピング機関（USADA）から持ちかけられていた事。これらの事実から、全ては両名による減刑目的の虚偽の告発であると判断されました。FBIは、2012年二月、ランスに対する無罪の裁定を下したのであります。

ところが2012年六月になって、急にUSADAはランスに対し、正式にドーピング違反であるという判定を宣言しました。このままでは、今までの入賞を剥奪しロードレース界から永久追放する事になる旨を通達したのです。なんとFBIの無罪裁定の後にはです。しかも米国においてUSADAは司法権を持っていないにも関わらずです。

ランスはこうしたUSADAの通達に敢えて不服申し立てをしませんでした。これを受けてUSADAは、ランスの打ち立てた1998年以降の全記録の抹消と、ロードレース界からの永久追放を、2012年八月二十四日に宣告したのであります。

力量を感じさせる者に陰口かげぐちで対抗するのは愚衆ぐしゆうの習いだが、それにしてばせいも罵声の浴びせ放題、袋叩ふくろたたきの感がある。

夏坂健著「フオー！」（新潮社）からのお言葉です。全ての物証はランスが無実である事を告げています。あれ程嚴重なドーピングチェックに一度も引つ掛からないという事は、それ自身、彼の無実を証明する確たる証拠でありましょう。FBIもそういう判断。当の国際自転車競技連合（UCI）は、自転車競技におけるドーピング問題の管轄権はUCIに有りUSADAには何の権限も無い、という立場を取っています。

これらの事から客観的に考えれば、USADAの暴走にしか見えません。

USADAはランスの偉業とも呼べる記録を抹消し、彼をロードレース界から追放しようとしています。これに対してランスが何の反論もしなかったのは、あまりの馬鹿馬鹿しさに嫌気がさしたからではないでしょうか。ランスが追放されたわけではありません。USADAやそれに反論出来ないロードレース界が、逆にランスに見放されたのであります。

ランスのツールドフランスにおける堂々たる戦いぶりを見れば、彼がつまらないズルをする男でない事は誰もが納得出来るでしょう。ロードレース界の至宝というべきスーパーヒーローに見捨てられてしまったという事実を、USADAは認識すべきです。告発と伝聞だけを採用し物理的な証拠は無視して人を追い込むやり方、しかも司法取引を曲解して不当に告発を促すやり方は、かつての魔女狩りやヒットラーユーゲント

うなが

まじよが

きよっかい

と全く変わりのない蛮行であります。

どのような裁定が下ろうとも、そしてUSADAが何を云おうとも、彼のツールドフランス七連覇という大記録は揺らぐものではありません。私は今後もランス・アームストロングの大ファンであり続けるでしょう。

理想的に振る回し

【098】辻村深月「鍵のない夢を見る」より

自 転車雑誌を眺めておりますと、そこかしこに様々な魅力的な部品が掲載されています。しかもその一つ一つにウンチクやらインプレッションやら性能比較やらが付記されていて、あゝもう、どうにかなつちまうんじゃないか、と思う程の物欲の嵐に見舞われる事もしばしばなので御座います。特に私は理系出身と云う事もあり、振動吸収性やらせんだんおうりよく剪断応力やらといった材料工学的な説明をデータ付きでされたりしますと、コロリと参ってしまうのであります。

現在メインマシンとして愛用しておりますクロモリオーダーフレームのピンクちゃんは、非常に乗りやすく、大いに気に入っているのですが、

そこはホレ、隣の芝生は青いと云うではありませんか。クラシカルなクロモリのホリゾンタルフレームの対極をなす、グラマラスなカーボンフレームにちよつと惹かれるものがあつたりするので御座いますよ。うふふ。仕方がないやね、浮気は男の甲斐性つて云うじゃない。

カーボンフレームはたくさんあるけど、やっぱり国産の安心感は格別だしブリジストンアンカーRMZ・Frameが良いかなあ。寸法は当然として、剛性も指定出来るみたいだしね。あんまりフニヤフニヤじゃ嫌だけど、ちよつと柔らかめ位の感じのフレームを試してみたいネ。フレームがグラマラスだから、ホイールもディープが似合うよね。ライトウエイトのカーボンディープをチョイスしたとして、こりや相当なインパクトだよ。こんなスゴい機材で峠で足着く訳にもいかねえしなあ。でも
ひんきやく
おいら貧脚だし、こうなりや走行性能というよりも、見せびらかし用マ

シンに特化しちゃおうかな。とすりや思い切ってコンパクトをやめてノーマルクランク入れて「コンパクトだとアウター×12Tでも使い切っちゃうんだよね」なんてホザいてみたり。しかも電動デュラエースを奢ってね。「電動は変速が早いからアタックが掛けやすいね」なんて云っちゃったりして。うんうん、だとすりや、こりやもう、絶対に平地しか行かないで、しかもスピード出せない多摩サイ限定。自転車も多いから見せびらかし甲斐があるというものさ。多摩サイなら時速二十五キロ以下で流していても、許されちゃうしさ。値段はそうだなあ、フレームだけで約五十万円だから、ホイールとか、カーボンハンドルとか、フィジークのサドルとか、電動デュラとかで、ま、百二十、百五十万円ってとこかな。アソスのジャージ着て多摩サイ流せば、こりやちよつとしたもんですぜ。うししし。こんくらしいの機材ともなりや、乗らなくてもコイツを着さに一杯やれるつてもんだぜ。あゝあ、宝くじでも当たらねえかな

あ。

現実的に夢を見なさい。

辻村深月著「鍵のない夢を見る」（文藝春秋）からのお言葉です。いやあ、^あ敢えて何も云いますまい。現実的なんてクソ食らえ！何と云われども、秋の夜長は、雑誌を眺めながらの物欲妄想ぶつよくもうそうに限りますつてば。フ。

責任転嫁して この苦境を乗り切る所存だ

【099】三浦しをん「お友だちからお願います」より

例 えば電車に乗っていて「あいててて、腹痛え」と独り言をつぶやく事など、まずありませんよね。多少どこかが痛かったとしても、それが救急車を必要とするような強烈なモノでない限り、黙って耐えるのが普通であります。ところがこうした独り言を頻繁ひんぱんに聞く事が出来る場所が存在するのです。そう、和田峠であります。

都道521号、通称陣馬街道の、東京都と神奈川県の境に位置する和田峠は、都下屈指げきさかの激坂げきさかとして、多くのサイクリストにリスぺクトされる、いわば坂馬鹿さかばかの聖地。私のようなヘニヨピリンな者が登ろうとすれば、息も絶え絶え、自転車の自立慣性限界ギリギリのノロノロ走行する

事になる、まさに激坂の王様の存在です。

その和田峠に自転車でお出掛けしますと、ここには三種類のサイクリストが居る事が分かります。第一群は本物のアスリート。強烈な坂をヒョイヒョイと軽く登る人達です。彼らは日常的に和田峠に通い、登坂タイムの向上を狙います。鬼の左へアピンで、わざわざ斜度のキツイイン側にコース取りをしてタイムを削ろうとする傾向があります。一旦登っておいてすぐに麓^{ふもと}まで引き返し再アタックをするのも、彼らにとっては割と普通の事のようにです。

第二群は、途中から完全に押し歩きモードになっちゃってる人達です。クロスバイク率が割と高く、ロードバイクに乗っていてもフラットペダルを装着している、いわば初心者の方が多く見受けられます。坂馬鹿の聖地を一度見てやろうという考えで来るには来たけれど、あまりの激坂

ぶりに戦意を喪失している方がほとんど。中には悪いお仲間たまに騙されて、無理矢理連れて来られちゃった方もいらつしやるようです。

第三群は、私を含むへニヨピリン軍団です。和峠には何度も来た事があるけれど、その度に息も絶え絶え滝の汗。登坂タイムなんて元々眼中に無く、蛇行だこうしながら何とか足を着かないで登るのが唯一の目標の人達。実は前述の「独り言を吐く」件は、私を含めたこの第三群の方々のお話なのであります。

私の場合、和峠において唯一自慢出来るのは、足を着かないで登れるという事これ一点のみ。平気で蛇行はするは、鬼の左へアピンでは比較的斜度の緩い大外のコース取りをするは、タイムを度外視した走り方をするのが特徴であります。しかも然りさとて楽に登れた事など一度もなく、毎回常に足を着いちやおうかどうしようか、悩みながらの登坂とはん。故にゆえ

と申しますか、途中で足を着いてしまう事や、もしくは足を着いているところを誰かに見られてしまう事を、異常なまでに恐れたりするのであります。

「あいててて、足攣つった〜。」俺が軟弱な訳じゃない、やむを得ない状況故に足を着いたに過ぎないんだ、という事を周りに知らせしめ、サイクリストとしての尊ディグニティ厳を守ろうという涙ぐましい行為が、和田峠における、これ見よがしな独り言の正体なのであります。

責任転嫁して、この苦境を乗り切る所存だ。

三浦しをん著「お友だちからお願いします」（大和書房）からのお言葉です。ま、私ほどの手練てだれともなりませんと、足攣つったフリだけでなく、電話が掛かってきたフリとか、変速機の調子が悪いフリとか、様々なバ

リエーションを駆使したりするのですがね。フッフ。でも冷静に考えてみますと携帯は圏外だけは、登り始めてすぐにインナー・ローに入れて一度も変速なんぞしていないは、どれも途中で足を着いちやう理由としては、はなはだ弱いのであります。あゝあ、何ともへニヨピリンな話。

ハッとして出逢ったのも 向かの縁

【100】森見登美彦「夜は短し歩けよ乙女」より

思

い起こしてみますと、ネット上のひよんなやり取りをきっかけに、

突然、鬼の和田峠に集まる事になったのが、チームURIBOZほっそく発足の瞬間でありました。三年前の残暑の頃、平成二十一年九月五日の事であります。

縁えんは異いなもの味あじなもの。それまでネット上のやりとりのみで全く面識

の無なかったメンバと、一堂いちどうに会かしたあの日を境に、あたかも数十年来の

知己ちきの様な素敵なお付き合いをさせて頂けるとは、大層しあわせな事で

御座います。自転車でのお出掛けだけでなく、夜の飲み会など楽しい事がてんこ盛り。今やURIBOZの方々との交流が無い世界など、想像

すら出来ません。しかも更にこうしたご縁は、今も徐々に拡大中なのであります。

数年前、ピナレロFP2号のステムベアリングの調子が悪くなり、こうした細かいメンテナンスを引き受けてくれる、ホームドクター的な自転車屋さんを探していたところ、URIBOZのともちんさんが紹介してくれたのが、立川にある自転車プロショップ、マングローブバイクスでありました。初めて会ったマングの大將はいか厳つく、ちよつとビビりながらの訪問でしたが、技術の確かさ、誠実な物言い、理論的かつ実践的な説明に心底感服しんそこしたので覚えています。大將に心酔しんすいし全幅ぜんぷくの信頼を置くようになるまで、大した時間は掛かりませんでした。

この様なマンググローブバイクスとの出逢いがあつたからこそ、結果として愛機ピンクちゃんをオーダーするに至った訳でありまして、現在私

がピンクのロードバイクに乗れているのは、元を辿ればあの三年前の和田峠でのオフ会があつたからこそなのであります。

勿論それだけではありません。そもそも当初、私はピンクちゃんの購入に中々踏み切れずにおりました。私は欲しい欲しいと大騒ぎする割には、実は小心な男でありまして、だつて単なる自転車が五十万円なんて、普通、踏ん切りなんてすぐにはつきませんつて。うじうじと悩んでいた私の背中を押してくれたのは、かみさんでありました。本日十月五日は、私どもの二十一度目の結婚記念日であります。かみさんとは学生時代に知り合つて、同棲や遠距離恋愛を経て、そのまま結婚したのであります。かみさんとの出逢いがあつたからこそ、巡り巡つて、今、私はピンク色のロードバイクに乗っているのであります。こうした縁は、有機的かつ複雑な広がりを持つている事をつくづく思い知らされます。

こうして出逢ったのも、何かのご縁

森見登美彦著「夜は短し歩けよ乙女」（角川書店）からのお言葉です。
URIBOZから派生した自転車仲間とのお付き合いは、その後も着実に広がり続けています。我々の結婚生活も二十二年目に突入しました。本当に有り難いお話です。

お読み頂いております拙文せつぶん「今週のお言葉」も今回でちょうど百回目。
あなたが、今この瞬間にYaszoneを訪問して下さったのも何かのご縁えんであります。今後もこうした有難いご縁を、一つ一つ大切に参りたいと思います。

この作品は、2011年8月から2012年10月に、<http://yaszone.jp>に掲載されたものです。

続・今週のお言葉

平成二十四年十月五日初版発行

著者 Yas

発行者 <http://yaszone.jp>

落丁・乱丁本はお取替え致します。

© Yas / YasZone 2012 Printed in Japan